

วารสารกรุงเทพ คอนเทนท์

2018 OCT
VOL 26 (608)



泰国日本人会

วารสารกรุงเทพ ฉบับประจำเดือน ตุลาคม 2561



P14



P32



表紙：カオ・チャンプアック
場所：カンチャナブリー県
トーンパーブーム国立公園

UNSEEN THAILAND 未だ見ぬタイへ ㊦

トーンパーブーム国立公園は、タイ・ミャンマー国境に連なるテナセリム山脈の一部で、面積約1235.5km²。公園内で最高峰にあたるのが海拔1249mのカオ・チャンプアック（白象山の意）。出発地点から森と草地の混じる8kmの山道を歩くこと6時間。登りきると360度の視界がひらけます。同国立公園は野生動植物の宝庫で、この地域固有の生態系の保護を目的としたプロジェクトが行われています。訪れることのできる期間は10月～2月。1日60人の入園制限が設けられています。

写真提供／タイ政府観光局

Copyright of The Tourism Authority of Thailand

10月号 目次

【特集】

03 タイ国日本人会の 社会貢献活動 報告②

チャンタミット社
シーカー・アジア財団

【活動報告】

- 11 『ばあちゃんの幸せレシピ』著者と楽しむ「料理とワインを巡る旅」
【婦人部】
- 12 サマーコンサート2018開催 【青少年部】プラスバンドサークル
- 13 すくすく会わんぱくミーティング夏祭り 【厚生部】すくすく会
- 14 《夏休み企画》親子での参加大歓迎! パープルライン視察会開催
【企画推進部】
- 28 「いつもの場所で普段着の姿を」ミニコンサート開催
【文化部】バンコク混声合唱団
- 29 「ハーモニーがやみつきに」第19回定期チャリティー
コンサートを終えて 【文化部】歌謡コーラス
- 30 『瀬戸正夫のバンコク物語』講演会が開催されました!
【事業部】懇和会

【学校だより】

- 32 小学4年生の校外学習 水の大切さを知ったバンケン浄水場見学
バンコク日本人学校 小学部4学年主任 上田恭士

【作品発表】

- 09 バンコク短歌会
- 10 メナム句会
- 15 五行歌



P37

【連載】

- 34 河の都アユタヤー レヌカー・M
ポルトガルの海(1)
- 37 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子
カリッと焼いた生地に鶏卵素麺やココナッツの甘辛煮をのせたカノム・ブアンタイ

【広報欄】

- 16 理事会議事録(7月度・8月度)
- 24 バンコク子ども図書館 10月の新着本紹介
- 24 日本人会会員証を使えるお店 新規優待店紹介
- 25 日本人会同好会紹介
- 26 第47回チャリティーバザー!
- 27 新設! 買って応援コーナー
「クルンテープ」で紹介した団体がブースを出します!
- 36 ゴルフ部月例会成績
- 36 編集後記
- 38 すくすく会通信Vol.6

◎特集

タイ国日本人会の

社会貢献活動

報告②

毎年恒例のタイ国日本人会チャリティーバザー。今年は10月21日(日)に開催です！ 収益と寄付金は、日本人会チャリティー基金運営委員会で検討され、支援が必要なタイの人々のもとに届けられます。先月号に続き、日本人会が支援している活動団体をご紹介します。



シーカー・アジア財団



支援
チャントミット社

奨学金

「ハンセン病を病んだ人の子弟への奨学金活動にご支援を得ています。その奨学生を対象とした第14回タイ国青少年ワークキャンプを開催しました」

チャントミット社協力者 阿部春代

(公益社団法人好善社派遣看護師)

コンケン県立シリントン病院勤務)



チャンタミット社は、タイ国のハンセン病を病んだ人々とその家族の真の友となることを目的としたキリスト教のNGO

で、昨年創立30周年を記念しました。当初から、ハンセン病を病んだ人の子弟が教育の機会に恵まれないことをふまえ、その子どもたちが元気に育つことを願い、国立のハンセン病施設内に保育園を開きました。また2001年から奨学金活動を始め、2002年からその一部ナイン県アイゲールウ村の子どもたちが日本人会からのご支援を得ています。

その後、タイ国が幼児教育から青少年育成に力を入れ始め、保育所運営6カ所が2012年から1カ所となりました。また、奨学金活動も新規認可を増やさずに勉学中の奨学生が確実に高等教育を修了できるように努めてきました。

チャンタミット社全体の奨学金活動は、2017年度までの16年間に奨学生の数が211名で、延べ数にすると1128名

となり、高等教育を卒業が118名になりました。

この奨学生を対象に、ハンセン病問題を正しく理解する場を提供し、また地域の青年リーダーを育てる目的で2005年から始めたのが、タイ国青少年ワークキャンプです。初回から日本の青少年も10名前後が参加し、5回目からオーストラリア人も加わりました。昨年7月号のクルンテープに掲載された報告書の一部に、2016年11月のラムパン県で開催した12回目のキャンプの様子を紹介いたしました。

国立のハンセン病施設で生まれ育った青年たちが参加費を払い、2泊3日の共同生活で、朝6時から夜9時までのプログラムを共にします。初回は100名を超える参加者でしたが、回を重ねる中で徐々に相応しい人数とプログラムが整ってきました。また、2014年に日本でのワークキャンプ・リユニオンへ青年代表を招いたことから、タイでもキャンプ後リユニオン

が始まり、そこで青年実行委員会を立ち上げ、準備段階からキャンプの役割一部を担う体制が昨年からは始まりました。過去2回のリユニオンは、参加したキャンパーたちの相互理解を深め、そして各自がキャンプの意匠を問い直す良い機会になりました。リーダーの具体的なアドバイス等が初回参加者にも広く深い見方を促し始め、自主的参加型のワークキャンプを目指しています。

昨年、13回までのキャンプをまとめると、キャンパーの数はタイ人が327名(延べ数740)、日本人90名(延べ数203)、オーストラリアを含む総数が479名(延べ数1037)。各回の平均参加数は80名で、平均参加回数は2.2回(6~13回参加者が32名)でした。

今年、第14回ワークキャンプは8月11~13日アムナーチャルーン県のカムノイ村で、昨年に引き続き2度目の開催でした。キャンパーはタイ人51名、



支援 シーカー・ アジア財団

奨学生同士の交流を
目的としたワークキャンプ
開催費

●財団概要

シーカー・アジア財団は、バンコクにあるタイ国内最大規模のクロントイ・スラムに事務所

を置き、主にタイの子どもたち

への教育支援活動を行っている

ボランティア団体です。197

9年にカンボジア難民救済で設

立された曹洞宗東南アジア難民

救済会議（JSRC）から19

81年12月に曹洞宗ボランティア

ア会、現在の公益社団法人シャ

「文化交流ワークキャンプを開催しました！」 バンコク、ターク県、パヤオ県から学生が集結」

シーカー・アジア財団国際部 山田大貴

日本人9名、オーストラリア人7名の総勢67名（初参加18名）。日本とオーストラリアは前日夕に会場入り、一番遠いチェンライからは前日の午後に出発して当日朝に到着し、7時の朝食から始まり3日目の15時半まで寝食を共にしました。男女別に2カ所の宿舎で、すべてのプログラムを色別の3チームで分担して行動をします。

オリエンテーションから開会式、そして評価の時間と閉会式までの間に、ハンセン病に関する学び・レクレーション・分かち合い等ありますが、労働の時間が主です。その内容は、旧

保育所のコンクリート張り（浸水予防に土盛り後、19・5×6m）、高齢者用にトイレの改修2室と高齢者宅の掃除が2カ所でしたが、労働の11時間を5回に分けて予定通りに終了しました。

その他に会場の掃除・食器洗いは勿論、今回は3カ国が母国の食事を1食、色別のチームメンバーと作るという試みがあり、3食共「おいしかった」の声だけでなく、食事作りの間のコミュニケーションと文化交流ができたと好評でした。今年の主題は『チーム』。前回まで色別チームはあまり機能しませ

でしたが、今回はキャンプ経験者の青年実行委員がチームリーダーになり、メンバーへの具体的な働きかけをしていました。数年前から、施設で育った青少年だけでなく一般の青年が参加し始め、ハンセン病問題の啓発

にもなってきました。多くの顔に笑みがあり、声を掛け合って協力し合い、過去一番のワークキャンプとなり、皆がそれぞれに満足して別れを惜しまました。

雨期にもかかわらず好天に恵まれたことは確かですが、まさしく過去の経験を積み重ねた上でのキャンプだったと言えます。青年実行委員会は4月の下

旬から「どのようなキャンプにしたいか」を話し合い、その後

にラインでの相談を続けて、

6月上旬に1泊2日の最終準備

会を開き具体的な詰めをしまし

た。2年続きで、開催地の住民

協力が良かったこともありま

す。3年前に歌集として作った

ハンドブック（タイ・日・英

版）には、ハンセン病に関する

一般知識があり、日程表には時

間毎の労働内容が明示され充実

していました。

最後に、10月のリユニオン日

程を案内して再会を呼びかける

という、次へのステップもあり

ました。



ンテイ国際ボランティア会（SVA）に引き継がれた団体のバンコク事務所として1991年まで活動しました。その後、同年9月にタイの現地法人となり現在に至ります。タイは「中進国」と呼ばれ、バンコクでは華やかな都市の生活があります。が、階層間・地域間で大きな格差が存在しています。バンコク郊外合わせ約2000か所のスラムが存在し、クロントイ・スラムでは約10万人の人々が暮らすといわれています。一方、国境付近では電気が通っていないという村も多く、少数民族の子どもたちはろうそくを灯して宿題をしているという状況もあ

ります。ASEANの背景を受けて、タイへ出稼ぎに来る移民労働者の子どもたちが置かれる教育環境は厳しい状況にあります。同じタイで暮らしながら、子どもたちの教育の機会を決して平等とはいえません。私たちは、タイ社会の下層に置かれながらも精一杯頑張る子どもたちの小さな背中をそっと押し、教育の力で貧困の連鎖を断ち切るために、図書館事業、移動図書館事業、奨学金事業、学生寮事業、保育園事業などを行っています。

●活動報告

8月10日から13日にかけて私たちが運営するシャンティ学生寮（タイ北部パヤオ県ポン郡）にてワークキャンプを実施しました。集まったのは、バンコクのスラム地区とターク県・パヤオ県の少数民族居住地域で暮らす中高生100人で、学生たちは皆、シーカー・アジア財団の奨学金を受けています。このキ



キャンプは、奨学生同士が地域や年齢を越えて交流することを目的として企画され、タイ国日本人会の皆さまからのご支援により、この度、第1回目の開催が実現しました。

キャンプは10日の夜から始まり、初日は、開会式と自己紹介および班決めが行われました。2日目は、学生寮の田圃で田植えを行いました。田植えは寮生たちを中心に参加者全員で協力して朝から夕方まで行われました。通常は寮生が数日間かけて行う田植えを、今年は1日で終わることができました。ターク県とパヤオ県の学生たちは、普段から農作業をしているため、裸足で田圃の中をスイスイと移動し、慣れた手つきで作業していました。一方、バンコクの学生たちは人生で初めての田植えに苦勞しつつも、他の学生に教わりながら楽しそうに作業していました。1日を通して共同作業を行ったことで、学生たちの距離は一気に縮まりました。3

日目は、老朽化した学生寮の建物と設備へのペンキ塗りを朝から昼過ぎまで行いました。寮生たちはもちろん、他の参加者たちも自分たちが宿泊し利用しているため、一生懸命作業に取り組んでいました。

終了後には近くの運動場でサッカー大会が行われました。皆が裸足になって無邪気にピッチを駆け回り、ボールを蹴っていました。決着がつかずPK戦に突入する試合もあり、ゴールの結果には試合をしていないチームの学生たちも一喜一憂し、全員でサッカーを楽しんでいました。また、この日のレクリエーションでは各地域の伝統舞踊の発表会が行われ、平地タイ、北タイのモン族、タイ北西部のカレン族が文化交流する貴重な機会となりました。今日がキャンプ最後の夜ということで別れを惜しみ、中には涙を流す学生もいました。

最終日の朝の閉会式で学生たちに修了証書が授与され、

3泊4日のキャンプは終了しました。

参加者からは、「田植えはとても疲れましたが、皆と一緒にできてとても楽しかったです」「新しい友人ができてこのキャンプは最高の思い出になりました」といった声を聞くことができました。

奨学生たちへ貴重な機会を提供してくださり誠にありがとうございました。なお、貴会の皆さまからいただいたご支援は、バンコクおよび各村から学生寮までの往復の移動費、ペンキと道具の購入代、食事代として大切に使用させていただきます。今後も、奨学生同士が交流するイベントを定期的に開催していきたいと思っております。

改めて、タイ国日本人会の皆さまからのご支援に心より御礼申し上げます。

HP:<http://sikkha.or.th/jp/>

FB:<https://www.facebook.com/sikkha.official/>

バンコク短歌会

二〇一八年八月例会

八月二十六日(日) 十七時十五分〜十九時十五分 パーソネルコンサルタント社
〈足または自由題〉

小指までゆびの形をしてるたる素足といふはいつも悲しき

イーブン美奈子

タイの生き字引・瀬戸正夫さんの「米寿を祝う会」
祝福を素直に謝せる老友は「百二十歳まで生きむ」と誓ふ

大口堂遊

ようやくに腰の痛みも薄らいで動ける俵せ噛みしめる日々

大口乃り子

子猫来て家族みんなが能楽師蹴飛ばさぬよう摺り足で動く

斎藤由利子

海老の足をしゃぶりし指のべとべとを拭いて仰ぐラジャプルックの黄

申人

花の名を知りたい気持ち置き忘れただ酔いしれる花の香りに

高野久美子

引き出しの奥にひっそり母の足袋初詣の日のつま先を思う

那須世子

ガラス鉢にグッピー三匹泳ぎおり可も無し不可も無しの風情で

藤島みどり

足繁く通いし店の湯呑みには散り初む桜描かれておりき

森上美恵子

思い出せ西城秀樹血潮沸くつきぬけた昭和我がらが秀樹

祐仙

雲脚の彼方にやまの連なりてフエの古宮にプルメリア咲く

琉瑠

バンコク短歌会は、原則として毎月第四日曜日の十七時十五分から例会を開いています。

詳しくは幹事の森上美恵子までご連絡ください。初めての方、大歓迎です。

楽しく賑やかな会です。お気軽にどうぞ。ご参加をお待ちしております。

電話 〇八九・八九一・一六八三 メール mickobkk@gmail.com

今月のお題は「足」。足

は本当に大切ですね。そしてとても繊細。足裏を少しでも傷つけると痛くて歩けません。私達を行きたい所に、必要な場所へと運んでくれる足。いつまでも丈夫で強い足であってほしいものです。そしてこの「足」に、もっともっと感謝したいといけなのだと感じます。今月の短歌も、そんな「足」の持つ、力強い短歌や、繊細で優しい短歌が集まりました。人生の足跡、足枷、葛藤に踏ん張る足など、「足」という字は命、生き様を語る時に多く使われているようです。

両足を大地に踏ん張り、足元をしっかりとらえ、足早になりすぎず、時には足休めして、足枷を楽しみながら生きていきたいものです。

(世子)

メナム句会

二〇一八年八月句会

八月十一日(土) 十五時半〜十八時

於・日本人会本館会議室

兼題 ▼夜店(夜見世) ▼青林檎 ▼紙魚

／当季雑詠(投句五句)

◆今月のエッセイと自選二句(順不同)

「青林檎」は晩夏、「林檎」は晩秋の季語である。秋の季語に「青」を付けて夏の季語となっているものに「青柿」「青胡桃」「青葡萄」「青唐辛子」がある。果物が熟す前の「青」は無垢であり、羞恥すら感じさせる。「青林檎」はまさに、初恋の味がする。(恒夫)

孫の恋青りんご色そのままに 浮田 恒夫
暗闇に生きよと紙魚のデーエヌエー

紙魚匂ふ父の日記を拾ひ読む 大口 堂遊
青林檎バツクパツカー気取る子ら 大学生の孫 来タイ

兄妹手をつなぎゆく夜店かな 大口乃り子
少年僧剃りし頭や青林檎

電子化の波に負けじと紙魚の跡 梶田 直人
紙魚たちも舌を唸らす名著かな

アカシヤの花の崩れやかなしかり 嵯峨 春野
ゆつたりとバスローブにうちわかな

浅草雷門

台風禍大提灯のちぢこまる 堀井 京子
四〇度超えて迎へる八月や

下校後の涙と混じる青りんご 山田 誠
青りんご刃を入れるたび母の音

料理本紙魚の余地なき厚さかな 山本 良子
日本人会古本手にす原爆忌

異界より降りて夜見世の人の中 イーブン美奈子
紙魚走るユダと羊を踏みつぶし

向日葵の自撮のできる高さかな 岩田真之介
原発の町に向日葵笑ひをり

句会仲間、募集中！ 初心者も大歓迎です。

◆句会予定

九月句会 九月八日(土) 十五時半〜

▼場所・日本人会本館会議室

▼兼題・月、撫子(なでしこ)、飛蝗(ほった)

十月句会 十月十三日(土)、日本人会本館会議室

◆連絡先

幹事 山本良子

yoshiken@truemail.co.th

イーブン美奈子

〇九〇—九七〇—二二五六

minakobar@gmail.com



【婦人部】

岡本美奈子

『ばあちゃん幸せレシピ』著者と楽しむ「料理とワインを巡る旅」

台所研究家の中村優氏をお迎えし、トークショー&ワイン試飲会を開催しました。



中村 優氏

藪下氏

7月24日(火)、バンコク在住、「40クリエーションズ」代表、台所研究家の中村優氏をお迎えし、トークショー&ワイン試飲会を開催。

抽選の結果、30名が参加、世界のばあちゃんのもとを旅した話を綴った『ばあちゃん幸せレシピ』(木楽舎)を基に、まずはタイ南部産ココナッツシュガーをつまみながらオーガニック白ワインの紹介。軽快なお喋り口調でポルトガル、スペインのばあちゃんレシピが続く中、ロゼワインの紹介。これもどんな料理にも合いそうな華やかなワインだった。次に赤ワインに合う「ガンボ」くケイジャン料理(米国南部ルイジアナ州の料理)を中村氏のパートナーである藪下氏が再現、日本人会本館で調達した炊き立てのご飯とともに配られた。玉ねぎ、ニンニク、オクラ、コーン、鶏肉を材料にオレガノ、タイム、パプリカとスパイスをふんだんに使ったコクのあるソースに中村氏の選ばれた赤ワインがよく合い、ごはんもおいしくいただけました。当日、特別参加いただいた島



田会長から中村氏に生い立ちについて質問があり、同氏のおばあ様からの薫陶にも触れられ、生き生きとした楽しい毎日を送るすべが明かされた。30代前半の中村氏はこれからまた世界中を旅して新たな「飛び切り美味しい」のおすそ分けをしてくださるだろう。

お話を聞いて旅をしたくなった、世界中のばあちゃんが強くたくましく生きていく姿に元気をいただいたというご意見もあり、会場は笑顔にあふれていた。婦人部ではこれからも皆さんに楽しんでいただける催しを企画して参ります。ぜひご参加ください。



【青少年部】ブラスバンドサークル 世話役一同

サマーコンサート2018開催

毎年恒例のブラスバンドサークルのサマーコンサート。立ち見が多数であるほど盛況。部員たちは練習の成果を存分に発揮しました。

7月22日(日)、サイアムヤマハ4階ホールにて、ブラスバンドサークルのサマーコンサートが開催されました。当日用意した140席は開場と同時にあっという間に埋まり、開演前から立ち見のお客様で一杯になりました。

今年4月の時点では部員は12名。コンサートの開催も危ぶまれるほどでしたが、新入部員が一気に増え、19名でコンサートを迎えることができました。とはいえ、楽器経験のない新入部員にとって多くの合奏曲を演奏するのはただならぬ努力が必要でした。部員同士が協力し合い、指導者・先生方のご指導を仰ぎ、ひたむきに練習を続けました。

国王賛歌の演奏でコンサートスタート。その後、第1部は楽器紹介を兼ねたアンサンブル演奏。部長・副部長による司会進行で楽器の特徴や楽曲の背景などを紹介しました。また、第1部の最後は指導者・先生とのコラボレーションで「恋」(作曲…



コンサートを最後に引退する中学3年生

星野源)を演奏、部員による恋ダンスで会場を盛り上げました。第2部は「アンパンマンマーチ」「スリラー」など、お子様から大人の方まで楽しめる合奏曲を披露。最後は「Paradise Has No Border」の賑やかな演奏で締めくくりました。奏者と観客の熱気が溢れるコンサートとなりました。

ご来場いただいた皆様、コンサート運営にご協力いただいた皆様に感謝いたします。このコンサートを最後に引退する中学3年生のブラスバンドへの思いを引き継ぎ、今後も新たな挑戦を続けていきます。

【厚生部】すくすく会
わんぱく
ミリーテイング
夏祭り

山口千津子 井口扶希



スタッフ集合：お揃いの法被を着て夏祭りを盛り上げました



ステージでは「ウソ！ホント？クイズ」に、サメ家族のダンスで大盛り上がり！



歌謡コーラスの方がボランティアでたくさんの風船をプレゼントしてくれました



ママと甚平の赤ちゃんでパチリ。夏の思い出になりますね



金魚すくえた～！あれ？アヒルさんもいるね

浴衣や甚平を着た子どもとママたち約50組が参加。日本の夏の雰囲気味わってもらいました。



風鈴にシールをぺったん、上手にできたでしょ？



的もボールも手作りの的あて。だるまさんをねらって…

8月3日(金)、日本人会別館にて未就園児を対象にしたすくすく会の夏祭りが開催されました。
遊びに来てくれたのは、浴衣や甚平を着た子どもとママたち約50組。
写真コーナーにバルーンアートのプレゼント、的あて、金魚のつかみ取りといったゲーム、風鈴作りといったブースは赤ちゃんから楽しめる工夫もたくさん。最後はステージで歌と踊りに大盛り上がり。



ねんねの子向けに花火の寝相アートも準備しました



女声コーラスの皆さんの歌声に会場全体が聴き惚れました

【企画推進部】

《夏休み企画》親子での参加大歓迎！

パイプライン視察会開催

パイプラインの車両基地（車庫・整備場）や中央管理室の視察、乗車体験を行いました。



車両基地



中央管理室



車両基地

8月6日(月)にJICAのご協力によりパイプライン視察会を開催し、車両基地（車庫・整備場）& 中央管理室視察、乗車体験を行いました。40名が参加し、普段立ち入ることができない場所を特別に見学させていただき、日本がタイの発展にどのように貢献できているかを知ることができた貴重な体験となりました。



クロンバンパイ駅ホームにて参加者集合写真

五行歌

文化部・国際結婚友の会が幹事となつて大口堂遊先生を
囲んで「五行歌（ごぎょうか）」の集いを開催しております。
今月の詠題は「酷暑」。皆さんの歌から堂遊先生選を掲載
させていただきます。（順不同）

森妙子

大口堂遊

初来タイの孫を
「涼しい」と喜ばせた

日本の猛暑
もはや災害の
レベルとか

どこもかしこも
「中国人」だらけを
実感させた

チエンマイ
慰霊の旅

川満 富子

台風がくれば
大洪水

おまけに酷暑
復興活動の背中に
容赦なく照りつける

花を生けるとき
花に語りかけ

笑みがほころび
人生に
彩を添える



戦後七十三年

全国戦没者式典

平成の世が終ろうと

絶対
風化させてはいけない

故郷が恋しい

何もかもが恋しい

一人で降り立った

わびしい

無人駅さえも

望月 久美子

酷暑の日本から
「タイは避暑地」のよう
と言われ

今までの

愚痴は言えず

酷暑の日本

フル稼働のエアコン

蚊帳の中

団扇で涼をとった夜は

遠い昔の日本



イーブン 美奈子

残酷なまでに

暑い夏

は

終わった

私の恋の

雅世 マヌータム

雨が降り

爽やかなタイ

日本の異常な酷暑に

地球の軸がずれたかな？

ふと脳裡に

元野良猫

ミーちゃん

私を母親と思うのか

膝の上で体を伸ばし

夢の中

二階堂 まゆみ

蔓のびて

となりの鉢に

根をおろし

まだ勢力もあり

小鉢の乙女の爪

ノックノイ

鉢に小鳥咲き

ちようちんの姿に

変身

タイの雨季は蒸し暑い

川喜田 富久子

靴のまま

あるいは

裸足で

渡ろうか

スコールの洪水

蘭が咲いた

小さく3つ

鮮やかな紫が

長い茎の先で

揺れている

日高 朝代

夏休み

孫たちはみんな日本へ

さみしいけれど

暑さは日本より

ましらしい

このごろは

傘が手放せない

暑かったり

雨に降られたり

出かけの荷物がふえます

中島 貴美子

今年の日本の酷暑

タイは涼しいね

と

一度言って

みたかった

山川 喜美代

孫たちの

飛んだり跳ねたり

笑顔と共に

成長早し

時早し



【幹事】

川満 富子（081-611-3394）
雅世 マヌータム（081-682-5932）

理事会議事録(二〇一八年七月十日(火)開催)

一、新理事紹介・退任監事挨拶

・新理事紹介

中田雄三氏 チャリティー基金運営委員長

(Bank of Ayudhya Public Company Limited)

・退任監事

宮崎慎也氏 監事 (Japan Bank for International Cooperation)

二、会長報告(会長出席案件)

・六月 十七日(日) AEONよしもと555ライブ

・六月 二十一日(木) カリン・サラシン 泰日協会会長外務大臣賞表彰式

兼祝賀レセプション 於大使公邸

・七月 二日(月) 自衛隊記念日レセプション 於オーククラブステーション

・七月 三日(火) スリウォンロータリークラブ年次総会

・七月 四日(水) ゴルフダイジェスト・オンライン 新規事業推進室と面会

・七月 七日(土) 泰日協会主催 アユタヤ県・日本人村「七夕まつり」

三、一般報告

(一) 六月度個人会員動向

入会者 一五六名

退会者 一七四名

現会員数 六、八五八名(内、準会員四十二名)

(二) 六月度賛助会員動向

〈退会 四社〉

・パナソニックA.P. セールスタイル株式会社

(パナソニック家電製品販売・アフターサービス)

・博報堂バンコク(広告代理業)

・三光合成 テクノロジータイランド(自動車内外装用プラスチック部品製造)

・タイフジボウテキスタイル(衣料の製造及び販売)

〈入会 〇社〉

現会員数 五五四社

(三) 六月度会館来訪者数

本館… 三七三名(実数 一七三名)

別館…二、一三一名(実数 五六三名)

合計…二、六〇四名(実数 七三六名)

(四) 六月度寄贈報告

・本の寄贈

笹井重禎様、吉本明香様、清子スリサコン様、福音館書店、その他三名(順不同)より、

九十冊の寄贈

・現金の寄付

長原敬峰様(五万円)、永崎亮寛様(三万円)、加門知竜様(二万円)

三名より、納骨堂カンチャナプリ基金へ合計九万円

(五) 七月の主な会議と、部・同好会の主なイベントを紹介(事務局)

四、タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

・対象事業名…アユタヤ絆駅伝

・開催日…二〇一九年一月十三日(日)

・主催…RKB毎日放送株式会社

・要請事項…日本人会後援名義、ロゴ使用及び広報協力

―― 異議なく、承認された。

五、文化部予算申請報告(谷理事)

二〇一八年十月二十三日(火)開催予定の文化部コーラス三同好会(女声コーラス、歌謡コーラス、バンコク混声合唱団)のジョイントコンサートに、文化部その他イベント補助費より、五万バーツを会場費補助として支出予定の旨報告。

六、期中の予算変更についての規定(渡辺理事)

・タイ国日本人会の会計管理に関する規約・予算審議会規定・タイ国日本人会規約を確認し、期中の予算変更は理事会にて承認でき、定期総会は会計報告であり、承認の場ではないことを確認した。

・企画推進部の予算については、二〇一八年三月理事会報告した予算審議会検討結果(本予算書には、金額の計上をしていないが、二〇一七年度予算同様、総額百万バーツを上限に日本人会を活性化するための予算として確保し対象案件につき理事会承認の下、本

予算を修正し支出することとする。」の通り、理事会で確認・承認されている。本理事会にて、次項にて企画推進部の予算を提案したい。

・会報部の予算については、予算審議会にて「会報部・クルンテープ誌印刷製本代（二二八万ページ）に関しては、外部環境変化も鑑み、クルンテープ誌の在り方を検討し、十月より具体的な施策を実施できるよう、六月までに削減プラン（五十万ページの提示）を会報部長に依頼しており、次項にて会報部長から説明を行う。

七、会報部クルンテープ誌の在り方（富永理事）

・申請予算案、二三四万ページのところ、五十万ページの削減予算を予算審議会にて提起されている。クルンテープ誌の在り方について、会報部としてこの二カ月議論した結果を本理事会にて報告したい。

・クルンテープ誌の役割の変化

クルンテープ誌は、五十年前の一九六八年、会員数一、三三三名の時に手書き簡易印刷で始まった。当初は情報を伝達し、数少ない日本人同士のつながりを保つただけを目的としていた。在タイ邦人が増加していく中で、活動内容の魅力発信だけにとどまらず、日本人会活動の理解促進や、加入することによる満足度の向上を伝えていく役割を期待されてきている。クルンテープ誌の情報は、印刷工程の関係で二カ月遅れとなっている。現在のネット環境の時代にあつては、日本人会の活動について、タイムリーでパーソナルな情報発信、コミュニケーションを提供することにより、会員維持と新規会員獲得が求められている。

・外部環境の変化

この五十年間で、メディア環境が大きく変化している。インターネットの普及、さらに無料情報誌については約三十媒体発行されている。しかしながら、無料情報誌や新聞各社とも紙媒体の縮小や送付の有料化、LINE配信など、デジタル化へシフトしている傾向がある。

・会報部予算見直し

当面、年間五十万ページ削減のため、上限四十ページとして作成することとした。連載ページの削減、その他ホームページに掲載だけで済む内容はないか検討している。

・クルンテープ誌の在り方

クルンテープ誌の今後の在り方については、単純にページ数を削減するだけでは、そも

その役割が満たされない。クルンテープ誌を見ることによって多くの方に日本人会の魅力を伝えなければならぬのに、発行部数を単純に減らすだけではいいのか、常に新しい情報を紹介して魅力ある日本人会をアピールしていかなくてはならないのに、印刷物のように二カ月遅れでいいのか。現状のクルンテープ誌では、将来、求められる役割を担っていけなくなる可能性があり、デジタル化の検討が必要である。単純にコスト削減のためだけに、クルンテープ誌をPDF化してホームページに掲載すればいいという問題でもない。二〇一九年度或いは、二〇二〇年度中には、日本人会のホームページを皆さんに見て頂けるようなものにしなくてはいけない。ホームページには、生活に役立つ情報や会員の活動が網羅され、LINEやFacebookを活用し、タイムリーな会員活動の発信をしていく。併せて、無料情報誌を活用した広報活動を行うことによって、より多くの人の目につくような場に日本人会をもっていく必要がある。クルンテープ誌の費用削減については、単純なコスト削減ではなく、日本人会のホームページをより多くの人に見て頂けるものにしていかなくてはならないという議論に至ってきている。今期としては、上限四十ページと制限して作成することにより、費用を抑制していく。予算一八四万ページに対し、実績見込二九二万ページと、八万ページ超過する見込みである。但し、二〇一九年度の予算策定への準備ということでは、今後のクルンテープ誌の今後の在り方を検討していかなくてはならない。しかしながら、(例えば、クルンテープ誌のページ数削減、PDF化による公開、廃止など議論した場合) ホームページが充実していないと、クルンテープ誌の担っている役割をどうやってホームページに担わせていくかが前提条件となるため、ホームページの充実が必要である。ホームページの充実に関しては、企画推進部が提案する。

八、企画推進部二〇一八年度予算申請（伊藤理事）

(一) 企画推進部が発足して二カ月、会員の増強と会の活性化に向けて、新規イベントの企画・会館の在り方・賛助会員、個人会員の待遇改善など検討していくべき課題は多くあるという認識をしている。その中でも、フォーカスして議論して、一番最初に着手したいのが、ホームページの改革である。

目的としては、入退会の手続きや、イベントや各種申し込みができることによって会員の利便性の向上とともに、事務作業の効率化を図っていく。クルンテープ誌のデジタル化を含め、コンテンツの充実化を見据えて、ホームページを改革していきたい。現在、JCC、日本人学校のホームページを制作している会社に見積もりを依頼している。今後、他社を含めてさらに検討していく必要があるが、刷新の費用として五十五万ページを申請したい。その他、新規イベント補助、会議を含めて、企画推進部として六十九万六千ページの予算を申請したい。尚、前月の理事会で承認されたパープルライン視察はそのまま準備

費からの支出とするが、今後の新規イベントについては、企画推進部の予算から支出したい。

(二) ホームページ改革理由説明 (事務局)

・日本人会の抱える課題

日本人会の抱える一番の問題として、認知度の低さがある。過去のアンケート調査でも「聞いたことがあるが、どのような活動をしているか知らない」が七七・五%。情報収集の状況では、インターネットを利用する人が九十%以上。タイでの生活についての主な情報源としては、無料情報誌やインターネットで、日本人会の役割は低減している。

・日本人会のメディア実態

日本人会の広報予算十万ページ、広報予算の中には、「入会のしおり」四万ページ、ホームページ・IT関連費用は三・五万ページであり、その殆どがLINE利用料。七千人の会員を有する組織としては、低い予算である。ホームページ、LINE配信などデジタル関連の費用としては年間二・五万ページ、一方、会報チラシには、年間一八七万ページ、クルンテープ誌には年間二二万ページの費用をかけている。会員向けの紙媒体に費用をかけ、未入会の方へ情報が共有されない状況になっている。

・ホームページの閲覧状況

日本人会のホームページ訪問者数は、まだ低いと言わざるを得ない。ホームページの閲覧については、携帯端末からの利用者が六割程度。訪問者は少ないが来訪者は四ページ程度閲覧しており、関心をもって見て頂いているという見方もできる。

・ホームページ刷新の全体計画と費用見直し

課題としては、訪問者数を伸ばすことである。また、入退会の利便性の向上、マイページの導入、会員限定サービスの充実を検討していきたい。二段階にフェーズを分けて導入することを検討中。第一フェーズは、現在のサイトを利用して、入退会手続きの簡素化、マイページの設定を行うもので二四・五万ページ。第二フェーズはサイトのデザインを刷新し、バナー広告の設置などを検討しており、三十三万ページ。第一、第二フェーズを一括発注の場合は、五十五万ページ。さらに、専用サーバーの設定で七・四万ページ。ホームページと現会員システムとの連携についての改修費用は未確定である。また、ホームページ刷新の費用についても、他社にも相見積りする予定である。

(三) 七. 会報部クルンテープ誌の在り方についての意見

・(中村副会長) クルンテープ誌は全面デジタル化して、紙は廃止ということなのか。

・(富永理事) いろいろな方向性を議論している。主軸はデジタル化であるが、日本人会の記録を紙媒体で残していくことは捨てがたいことである。例えば、日々の新しい情報はホームページなどのデジタルな媒体で行い、四半期、半年或いは一年に一回、記録を束ねた紙媒体のクルンテープ誌で記録として発行していくという考え方もある。

・(中村副会長) 費用面、スピード感ということではデジタル化は必須であるが、雑誌そのものを楽しみにしている会員もいる。全面デジタル化すると逆に目につかなくなる可能性があり、会員数を増やす目的を達成できないのではないか。特に高齢化社会では目につかなくなる。クルンテープ誌が雑誌として生き残れないなら人気無料情報誌に相乗りすることも検討してみたいのではないかな。

・(富永理事) 日本人会の情報がホームページだけに収まっているだけでは人の目につかない。そのため、日本人会の活動を無料情報誌に掲載することは必要である。ホームページ、LINE、Facebook、無料情報誌と、全体でいかに人の目につくかを考えている。その結果、会報部、広報部、企画推進部と現在の部会の在り方も変わっていくと考えている。

・(中村副会長) 無料情報誌にクルンテープ誌として何ページか借り上げて掲載してもいいのではないかな。

・(富永理事) 費用との兼ね合いである。目玉的なものを毎月取り上げて頂くようなイメージである。

・(石井理事) 会員を増やすために、予算をくみ上げていく必要がある。今あるホームページには仕掛けがある。百周年記念の際、クルンテープ誌のPDF化を終了している。一部はホームページにもアップしている。当初は無料のものを利用してはいたが、有料のものを利用すればより良いものができる。業者に頼んでも日本人会の意向が決まっていなければならず、業者任せにはできない。総合的な考え方を持たなければならぬ。組み立てダミーのホームページも作ることが必要。四、五十万ページはかかると思う。クルンテープ誌についてもデジタル化すれば、カラーやページ数の制約がない。

・(伊藤副会長) ホームページを改革するという方向性を認識して頂き、予算としては枠を認めて頂きたい。金額については、他社にも相見積りをとり、詳細は今後詰めていく。

―― 異議なく、承認された。

九. 名譽会員推薦 (事務局)

二〇一八年六月理事会で名譽会員の選定基準について具体的な内規を定めた旨の報告をした。その内規に基づき、レヌカー・ムシカシントン様 (二〇〇二年～二〇一五年) 十四

年間理事を歴任と、日高龍雄様（一九八六年～一九八九年・一九八八年～二〇〇一年八年間理事を歴任、二〇一四年在外公館長表彰受賞）を推薦したい。
―― 異議なく承認された。

十、運動部追加予算申請（中村理事）

バレーボール同好会がバンコク日本人学校東体育館にて使用しているボールが破損し、買い替えのための費用の補助を申請。現在のボールは学校の持ち物であるが、東体育館にて児童生徒が利用しないため、買い替え予定はなく、同好会にて購入し利用したい。同好会は七万バーツの補助を希望しているが、運動部として三万バーツを補助したい。但し、会員の方と未入会の方に負担額の差を設け、会員の方にはメリットを、未入会の方には入会を促すこととしたい。

・（森本副会長）三役会では、同好会の用具の補助に対してどのような基準で考えていくのかを、明確にしていく必要があるという意見があった。年度途中で他の同好会からの同様の依頼があった場合、どう対応していくのか。

・（渡辺理事）各同好会がどのような施設でどのような備品を使っているか、現状を認識した上で再度検討したい。

―― 次回理事会で再度検討とする。

十一、各部・各委員会報告及び提案等（報告順）

（一）教育部（田中（郵船）理事）

七月一日（日）二〇一八年度第一回英語検定二次試験を日本人学校にて実施。受験者は二級五十八名、準二級四十九名、三級六十八名、合計一七五名。当日は、二十名のボランティアと七名の日本人学校の先生にお手伝い頂いた。

（二）クラブ部（土田理事）

・七月九日（火）本館・別館図書ボランティア新旧交代慰労食事を本館で開催し、ボランティアの皆様と意見交換をした。土田理事、石井理事・本館図書ボランティア五名、別館図書ボランティア新旧世話役五名、事務局図書担当二名が参加。

・二〇一八年度予算にて計上している監視カメラ導入に向け、再度二社に見積もりを依頼中である。

（三）会報部（富永理事）

・八月号の表紙は、パヤーム島。特集は、学校だより拡大版、バンコク日本人学校のチャア

ム臨海学校、第四十二回ソフトボール大会全一十三チーム紹介。ミニ特集は『虹の学校』の挑戦。連載はバンコクの日本人（八月号が最終回）、河の都アユタヤ。八月三十一日（金）十時より、クルンテープ連載「バンコクの日本人」著者、村嶋英治氏（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）の講演会をサートン本館にて開催予定。

（四）運動部・ソフトボール大会（中村理事）
ソフトボール大会結果報告をした。

（五）在タイ日本国大使館（野中領事部長）

・タイ深南部、パッタニー、ヤラー、ナラティワートには危険情報レベル三「渡航禁止勧告」が出ている。どのような目的であれ渡航はやめて頂きたい。

・夏休みに入り、タイ国以外の国に出かける場合は、旅レジの登録をお願いしたい。

（六）事業部（神原理事）

・六月二十二日（金）ワットリアアップ育英資金伝達式に出席し、チャリティー基金からの寄付金五万バーツを贈呈した。伝達式では、二十校、二四四名に奨学金を贈呈。高野山タイ国開教留学生の会の長原様、永崎様、加門様も列席された。

・また、事業部懇和会に長原様から五万円、永崎様から二万円寄付を頂いた。

（七）運動部・ゴルフ部（神原理事）

・六月十七日（日）ゴルフ部第六九八回月例会をラムルッカC.Cにて開催。Aクラス優勝田中康明氏、Bクラス優勝徳久紀生氏、クラブカップ戦優勝杉浦隆行氏

・九月三十日（日）ゴルフ部にて会員増強のためのチーム戦をラムルッカC.Cにて検討している。四十名ほどを予定。賞品の協賛協力をお願いしたい。

（八）食堂運営委員会（石井理事）

六月の売上は一、五五四、六六〇バーツ。昨年同月比八七・五％。タイ人顧客数四、六五三名、邦人顧客数一、二五三名、顧客総数五、九〇六名となっている。邦人顧客会費利用者延べ人数は二七八名、実数一四八名。

会員の方向けに、試験的に昼食混雑時に本館のラウンジスペースを開放している。入会促進になればと思いましたが、未入会の方を同伴している方も多い。一時的でも会員の同伴があれば利用可となるよう検討して頂きたい。

(九) 婦人部 (事務局代理)

・六月二十六日 (火) ウェルカムパーティー『バンコクに来たばかりの方集合! ランチBOXでお茶会!』を別館にて開催した。四十名の参加があり好評であった。十二社からの協賛を頂いた。協賛社にはお礼申し上げる。

・七月二十四日 (火) 『バンコク在住「ばあちゃんの幸せレシピ」著者と楽しむ料理とワインを巡る旅』を開催予定。

(十) 青少年部 (事務局代理)

・六月 十四日 (木) 青少年サークル世話役会議

・六月二十二日 (金) バレーボールサークル

運動部バレーボール同好会を招いての特別練習

(十一) 広報部 (事務局代理)

五月のホームページアクセス状況は、訪問数七、六六七。閲覧数一八、四三四。前年同月比、訪問数二二・二%、閲覧数一〇〇・三%。前月比は、訪問数九八・三%、閲覧数八七・一%。タイからの訪問数は五七・二四%、日本からは三一・六三%。前月と比較し訪問数・閲覧数共に大幅に減少しているが、前年では閲覧数は横ばい・訪問数は増加傾向にある。今月は日本人会が後援・共催しているイベントなどのページ閲覧数が比較的多かった。

昨年一月より、月曜日と木曜日にLINE配信をしている。LINE登録者数一、六九七名、六月度は四十七名登録。

(十二) バンコク日本人学校 (室賀校長)

・バレーボール同好会のボールについて。日本人学校は施設をお貸しているが、使用料は頂いていない。利用者の方には無料ということで好評を頂いている。しかしながら、授業で使わない備品に関しては学校の予算では修理できない旨解頂きたい。

・夏休みに入り大きな工事を予定しており、各活動に使用の制限がかかる場合があり、協力頂きたい。

・八月三日 (金) 終了式、九月三日 (月) 始業式を予定している。

(十三) 国際交流基金バンコク日本文化センター (吉岡所長)

カンヌ映画祭でパルムドールを受賞した是枝監督の「万引き家族」が八月二日 (木) より劇場公開される。それに併せてタイの配給会社主催で、七月二十七日 (金) から三十日 (月) まで是枝監督の過去の作品をHouse RCAにて上映予定。

十二、六月度理事会議事録承認

——> 異議なく承認された。

十三、理事会出席者 (敬称略、順不同)

島田会長、森本、伊藤、中村各副会長、渡辺、加藤、神原、谷、桐生、田中 (郵船)、土田、富永、中田、石井各理事、宮崎、相原監事、野中大使館代表、室賀学校代表、田中JICA代表、小篠JETRO代表、吉岡国際交流基金代表、小田原バンコクスリウオンロータリークラブ代表、事務局 (熊本・村上・渡邊)

理事会議事録(二〇一八年八月二十一日(火) 別館開催)

一. 名誉会員表彰式

長年に亘り理事としてタイ国日本人会に貢献し、名誉会員になられた日高龍雄元理事、レスカー・ムシカシントン元理事へ、島田会長より表彰状と記念品を贈呈。

二. 会長挨拶

会長報告(会長出席案件)

七月十一日(水) タイ王国元日本留学生協会幹部との懇親会@Palmレストラン
七月十四日(土) 日本人会文化部歌謡コーラス第十九回定期チャリティーコンサート

@バンコク・アート・アンド・カルチャーセンター
七月二十二日(日) 日本人会理事会メンバー懇親ゴルフ@タイカントリークラブ
七月二十四日(火) 婦人部主催『料理とワインを巡る旅』参加@別館

七月二十六日(木) KOREEDA RETROSPECTIVE2018
「万引き家族」オープニング式典@RCA

八月六日 (月) JICA様との共催『夏休み企画』親子での参加大歓迎!
「パールライン視察会」オープニング式典

八月十七日 (金) 瀬戸正夫写真展 in バンコク オープニング式典
・本日の理事会は別館にて開催した、理事の皆さんに別館を見て頂き意見を頂戴したい。

三. 一般報告

(一) 七月度個人会員動向

入会者 一一九名
退会者 一六六名
現会員数 六、八一一名(内、準会員四十二名)

(二) 七月度賛助会員動向

〈入会 四社〉
・ベイ・オットー株式会社(レストラン、フードショップ)
・アヴラ グリク レストラン(レストラン)
・プレステージ インターナショナル(タイランド) (コールセンター カスタマーサービス)
・Hand Management Co., Ltd. (Education Service)
〈退会 四社〉
・株式会社 ティーエイブリッジ(総合商社)
・学習センター株式会社(通信教育)
・パナソニック・シュー・セールズ株式会社
・パナソニックAV・システム・エナジー製品のタイ国内における販売及びサービス)
・IN Best(Thailand)Co., Ltd. (レンタル業、印刷業)

現会員数 五五四社

(三) 七月度会館来訪者数

本館… 四五四名(実数 一九一名)
別館… 二、二四〇名(実数 五八五名)
合計… 二、六九四名(実数 七七六名)

(四) 七月度寄贈報告

本の寄贈
福音館書店、神原彰三様、川満富子様、岩崎悦子様、山本佳代様、大口智子様、能勢大成様、その他一名(順不同)より、二六六冊の寄贈
・現金の寄付(チャリティー基金へ)
・レインボー幼稚園より、六、八〇〇パーツの寄付

(五) その他報告(事務局)

・七月に発生した西日本豪雨の義援金受付を七月十六日(月)より開始した。募金箱を本館、別館、タイ王国元日本留学生協会・日本語学校の三校、パーソネルコンサルタント社に設置。義援金受付は八月三十一日(金)まで、日本赤十字社に寄付する予定でいる。
・七月十九日(木)別館にて開催したAED講習会について、三十二名の方に参加頂いた。
・八月五日(土)にハノイで開催されたアジア域内事務局長会議の報告をした。
・八月・九月の主な会議と、部・同好会の主なイベントを紹介。

四. 新監事承認(渡辺理事)

・朽木隆弘氏 (Japan Bank for International Cooperation)
→ 異議なく、承認された。

五. タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

(一) 対象事業名… チェンマイ・ヒナステラ国際音楽祭
・開催日… 二〇一八年十月二〇日(土) 十一月十一日(日) 〓十七日(土)
・主催… チェンマイ・ヒナステラ国際音楽祭・チェンマイ交響楽団
・要請事項… 日本人会後援名義、ロゴ使用及び広報協力
→ 異議なく、承認された。

(二) 対象事業名… 第二回日本タイ友好交流「未来を担う子供たちのメッセージ」児童絵

画交換会付帯事業 第一回カンチャナブリ「日泰交流盆踊り大会」
・開催日… 二〇一八年十一月十七日(土)
・主催… 特定非営利活動法人(NPO) 東アジア交流協会

・要請事項…日本人会後援名義、ロゴ使用
—— 異議なく、承認された。

(三) 対象事業名…第十三回大阪大学バンコク公開講演会
・開催日…二〇一八年十一月二十四日(土)

・主催…国立大学法人 大阪大学
・要請事項…日本人会後援名義、ロゴ使用及び広報協力
—— 異議なく、承認された。

(四) 対象事業名…第二十三回世界のお巡りさんコンサート in タイ
・開催日…二〇一八年十一月二十四日(土) ～二十五日(日)

・主催…世界のお巡りさんコンサート実行委員会(主管 毎日新聞社)
・要請事項…日本人会後援名義、ロゴ使用及び広報協力
—— 異議なく、承認された。

六、運動部追加予算申請(中村理事)

八月理事会にて再度検討となった「バレーボール同好会からバンコク日本人学校・東体育館のボール買換えのための補助」の件について、バレーボール同好会からの理事宛での依頼文も紹介し説明を行った。

運動部同好会の補助金については、用具の補助をしている団体はなく、施設利用料の補助、大会運営費の補助として支給している。今期、運動部同好会より、追加的な備品補助の申請の可能性は低い。今回のバレーボール同好会からの補助金申請については、従来学校が提供していたものが利用できなくなり、ボール無しでは活動ができないため備品購入の補助ではなく同好会の運営継続補助として考え、緊急避難的な措置として三万パーツを支給することとした。但し、このボールは日本人会同好会以外も使用することから、会員の方と未入会の方に負担額の差を設け、会員の方にはメリットを、未入会の方には入会を促すこととし、支給したい。また、十二月の各同好会への予算説明会に於いて、将来の負担に備え備品積立を行って頂くよう依頼していくこととした。
—— 異議なく承認された。

七、各部・各委員会報告及び提案等(報告順)

(一) 婦人部(黒田理事)
七月二十四日(火)『バンコク在住「ばあちゃんの幸せレシピ」著者と楽しむ料理とワインを巡る旅』を開催。抽選の結果、三十名が参加。

(二) 会報部(富永理事)

九月号の表紙ロム・プーキアオ、特集はタイ国日本人会の社会貢献活動報告。

八月三十一日(金) 十時より「バンコクの日本人」を連載して頂いた村嶋英治氏(早稲田大学院アジア太平洋研究科教授)の講演会をサートン本館で実施する予定。

(四) クラブ部(土田理事)

二〇一八年度予算にて計上している防犯カメラ導入に向け、相見積を取った結果、セコム社に依頼することとなった。

(四) 厚生部(桐生理事)

八月三日(金) 別館にてすくすく会夏祭りを開催した。当日はボランティア十八名他、女声コーラス十五名の歌や、歌謡コーラスボランティア一名の風船アートがあり、四十三組の親子に参加頂いた。

(五) 文化部(谷理事)

七月十四日(土) 歌謡コーラス同好会が第十九回定期チャリティーコンサートを開催。来場者の皆様から募金頂いた二二、三二九パーツは、財団法人アジア車いす交流センタータイランド・政岡基金へ寄付した。

七月の各同好会への補助金執行状況を説明。

(六) 広報部ホームページ(田中理事)

七月のホームページアクセス状況は、訪問数六、五七七。閲覧数一五、九七九。前年同月比、訪問数一一九、一%、閲覧数一〇七、一%。前月比は、訪問数八五、八%、閲覧数八六、七%。タイからの訪問数は五五、八二%、日本からは三八、二四%。前月と比較し訪問数・閲覧数共に大幅に減少しているが、前年と比較し閲覧数、訪問数は増加傾向にある。今月のイベントは多かったが、一時帰国時期と重なるためページ閲覧数は比較的低かった。

昨年一月より、月曜日と木曜日にLINE配信をしている。LINE登録者数一、七四一名、七月度四十四名登録。

(七) 企画推進部(伊藤理事)

八月六日(月) JICA様との共催『夏休み企画』親子での参加大歓迎! パープルライン視察会』を開催した。大人十四名・子供十六名の参加を頂き好評であった。本日開催した企画推進部会議では、賛助会員の新規入会キャンペーン、会館利用の促進のため、料金体系を含めた考え方の整理、語学学校との共同企画や、無料情報誌との提携を検討した。

(七) 運動部・ソフトボール大会(中村理事)

ソフトボール大会予選リーグ全五十二試合が終了、決勝トーナメント進出チームを紹介。

八月十九日(日) 決勝トーナメント戦、八月二十六日(日) 優勝決定戦を予定。

(八) 在タイ日本国大使館(野中領事部長)

八月二十一日(火) から八月二十四日(金) 頃までは、イスラム教の犠牲祭に当たり、大規模行事はテロ等の標的となり易いことに留意し、最新情報の入手に努めて頂きたい。狂犬病での死亡者は昨年十一名だったが、今年はすでに十七名となっている。発症した場合、致死率はほぼ100%という危険な病気のため、予防接種をするなどして注意して頂きたい。

(九) 事業部(神原理事)

- ・七月二十四日(火) 懇和会にて『瀬戸正夫のバンコク物語』を開催した。
- ・九月十二日(水) 本館にて創立記念日のお清めの法要を実施予定。
- ・九月十五日(土) 本館食堂にて敬老の日祝賀会を実施予定。
- ・九月二十一日(金) ワットリアップ、日本人納骨堂にて秋季法要を実施予定。

(十) 運動部・ゴルフ部(神原理事)

七月十五日(日) ゴルフ部第六九回月例会をラムルッカC.C.にて開催。Aクラス優勝田中康明氏、Bクラス優勝尾崎直樹氏。今年から体験ラウンドを行っており、七月は三名の入会があった。今年になりゴルフ部に十八名ほど入会頂いた。

(十一) 食堂運営委員会(石井理事)

七月の売上は一、五一五、三三〇バーツ。昨年同月比九三、四%。タイ人顧客数四、四八九名、邦人顧客数一、二六三名、顧客総数五、七五二名となっている。邦人顧客会員利用者延べ人数は二七八名、実数一四七名。食堂利用客のタイ人顧客を日本人会准会員に誘致し、会員増に貢献できないか検討したい。

(十二) JICA代表(田中所長)

企画推進部にて開催した「パープルライン視察会」については、タイ在住の日本人の方に、JICAの活動を知ってもらう良い機会であった。今後もこのような機会を増やしていきたい。

現在建設中のバンヌー駅も日本の円借款で行われており、タイ政府からの依頼を受け、JICAによるマスタープラン案を提出している。将来日タイ関係の象徴的な場所になることを期待しており、タイ在住の日本人の方にも、本プロジェクトを是非知って頂きたい。

六月二十八日と七月九日のチェンライ県タムルアン洞窟救出支援活動では、事故発生後、排水及び土木の専門家二名他を現地に派遣し、タイ政府関係者に効率的な排水方法を助言した他、宇宙航空研究開発機構(JAXA)等の協力を得て、衛星画像を活用した精緻な

地形図を作成し、救助用坑道や雨水流入口の探査等に活用できるようタイ政府に提供した。その結果、ワチラロンコン国王より天皇陛下に感謝状が贈られた。これは日本人としての名誉なので、日本人会の皆さまにもご報告したい。

(十三) 国際交流基金バンコク日本文化センター(吉岡所長)

八月二十二日(水) アニメ映画「未来のミライ」のタイ公開に合わせ、監督の細田守氏の特別トークイベントをエムクオーティエで開催予定。

(十四) タイ国政府観光庁(鹿野代表)

長年に亘り親しまれてきたドゥシット動物園が八月末にて閉園になるため、是非お出かけ頂きたい。

(十五) 青少年部(事務局代理)

七月の各青少年サークルの対外活動を紹介した。日本人学校新校舎建設のため、従来のテニスコートが利用できなくなったが、学校側よりテニスコートの代替場所を屋外一面、東体育館に一面提供して頂いた。東体育館では可動式のネットが必要となるため、青少年部の予備費から支出する旨報告があった。

(十六) チャリティーバザー進捗状況報告(事務局)

十月二十一(日)、ホリデイインスクンビットホテルで開催予定の第四十七回チャリティーバザーの進捗状況及び今後のスケジュールについて説明をした。本年度より、手作り品の参加団体が四団体減少したため、委託店を追加募集した。さらに、チャリティー基金で支援している団体やクルンテープ誌で紹介した生産者へ無償でブースを提供。来場者が商品を購入して頂くことにより、出店団体へ直接支援できるようにする予定である。

八、七月度理事会議事録承認

―― 異議なく承認された。

九、理事会出席者(敬称略、順不同)

島田会長、森本、伊藤、中村、田中(伊藤忠)、仲野各副会長、西村、渡辺、加藤、酒見、黒田、神原、谷、桐生、田中(郵船)、土田、富永、石井各理事、朽木、相原両監事、野中大使館代表、田中JICA代表、小篠JETRO代表、吉岡国際交流基金代表、鹿野タイ国政府観光庁代表、西岡タイ情報誌制作会社代表、藤下報道代表、(熊本・村上・渡邊)



『ゆびさしちゃん』作/ザ・キャビンカンパニー
 『いっこさんこ』 作/及川賢治 竹内繭子
 『ちかてつライオンせん』作/サトウマサノリ
 『とりこしふくろう』作/滑川まい
 『あしたがすき
 ~釜石「こすもす公園」きぼうの壁画ものがたり~』
 作/指田和 絵/阿部恭子



『しらべよう！世界の料理②
 東南アジア ベトナム タイ フィリピン インドネシア ほか』
 監修/青木ゆり子
 『だんめん図鑑』 監修/断面マン (日本切断研究所)

『はなはなみんみ物語』 作/わたりむつこ 絵/本庄ひさ子
 『アイスクリームが溶けてしまう前に
 (家族のハロウィーンのための連作)』
 作/小沢健二と日米恐怖学会
 『ぐるぐるの図書室』
 作/工藤純子 廣嶋玲子 濱野京子 菅野雪虫 まはら三桃

★開館日は、火・水・金・土の10～16時です。(日本人会休館日は閉館。)
 ★バンコク子ども図書館 ☎02-662-4950
 ★詳しい情報は、www.facebook.com/kodomotosho をご覧ください。



日本人会会員証を使えるお店

会員証を提示するだけで、こんなにお得です！
 日本人会会員証でさらに楽しいバンコク生活にしましょう！！



新規優待店紹介

日本料理 金星	お食事10%割引！ ランチ・ディナーどちらもご利用可能！	メトロポリスビル スクンビット39と41の間	TEL：02-258-3031-2
生そば あずま	飲食代10%割引！ ※10名以上ご利用の場合15%割引！ ※20名以上ご利用の場合15%割引及び 焼酎と角瓶1本ずつプレゼント！！	①スクンビット33店 ②スクンビット33/1店 ③スクンビット49店 ④タニヤ店	①TEL：02-259-5190 ②TEL：02-258-3447 ③TEL：02-108-7920 ④TEL：02-632-7001
焼肉AZUMA		スクンビット31	TEL：02-118-6337
Aura Greek Restaurant	選べる特典！ ①アラカルトメニュー10%割引 ②インポートビール2杯注文で1杯プレゼント お誕生日の方へケーキプレゼント (6人以上予約時)	スクンビット33	TEL：02-258-2877

その他、約80店舗のお得な優待店情報は、ホームページでご確認ください！
<http://www.jat.or.th>

*詳細につきましては、直接加盟店へお問い合わせください。
 *他のプロモーションとの併用は出来ません。
 *会員証はお会計前に提示してください。

日本人会同好会紹介

文化系20
運動系10

同じ趣味の人々が集まって
楽しんでいます！

同好会	活動日	活動場所	HP Facebook その他
文化部			
メナム旬会	第2土曜日	日本人会本館	
将棋同好会	第1・3・5日曜日 第2日曜日	日本人会本館 日本人会別館	本館:将棋例会 別館:子供将棋会
バンコク短歌会	第4日曜日	インターチェンジ・パー ソネルコンサルタント社	
陶楽の会	木曜日	スクムビットソイ30	https://ameblo.jp/tourakunokai/
ブリッジ同好会	火曜日 月・金曜日	日本人会別館 日本人会本館	
絵画同好会	水曜日	日本人会本館	
社交ダンス同好会	土曜日	BIDA スクムビット・ ソイ42 42 Tower9階	http://d.hatena.ne.jp/doukoukai/
女声コーラス	月曜日	日本人会別館	FB検索:バンコク女声コーラス
タイを知る会	第1・3金曜日	日本人会別館	
バンコク混声合唱団	土曜日	日本人会別館	https://www.facebook.com/bangkokjapanesechorus/ FB検索:バンコク混声合唱団
国際結婚友の会	第3火曜日	日本人会本館	
歌謡コーラス	土曜日	日本人会別館	kayou.bkk@gmail.com 活動時間15:00~17:00
バンコクシティアンサンブル	土曜日	日本人会本館	
バイリンガルの子供のための 日本語同好会	第2・4土曜日	日本人会本館	https://bilingualjapanese.wordpress.com/
編み物・手芸の会	第2・4水曜日	日本人会別館	
クルトテープかるた会	木・日曜日	インターチェンジ・パー ソネルコンサルタント社	https://minakobar.wixsite.com/karuta
クルトテープ写真倶楽部	2ヶ月に一度	撮影会や講習会など	https://bkkphotoclub.com/ http://www.facebook.com/groups/photobkk
フラレイレファ	現在未定	日本人会別館	
ゴスペルクワイヤーPhriks	火曜日	日本人会別館	www.facebook.com/Phriks
民舞・日舞・よさこい同好会	火・木曜日	日本人会別館	FB検索:Japanese Dancing Mai
運動部			
バドミントン同好会	月・木曜日	ラケットクラブ	
バンコク走遊会	第2日曜日 第4日曜日	ルンビニ公園 ベンチャシリ公園	(集合時間17:30) (集合時間17:30)
バレーボール同好会	日曜日	バンコク日本人学校	https://th-jp-association-vbc.amebaownd.com/ https://www.facebook.com/profile.php?id=100015922159226
ヨガ同好会	月・水・金曜日	日本人会別館	
ラグビー同好会	日曜日	スクムビット周辺のグランド	http://blogs.yahoo.co.jp/bjrffc2008 https://www.facebook.com/bjrffc1964/
卓球同好会	水曜日 日曜日	日本人会別館 日本人会本館	http://jatpingpong.web.fc2.com/index.html
バスケットボール同好会	日曜日	バンコク日本人学校	
太極拳同好会	水曜日 第1・3土曜日	日本人会別館 日本人会本館	
クルトテープ剣友会	日曜日 水曜日 土曜日	バンコク日本人学校 エカマイ道場 シラチャ日本人学校	http://yojihamanishi.wixsite.com/bkkkendo 検索:クルトテープ剣友会
ゴルフ部	第3日曜日	ラムルッカC.C.	http://www.jat-golf.org/ https://www.facebook.com/groups/592987260911468/

お問合せ: 直接同好会に連絡するか、日本人会サートン本館までご連絡ください。

Tel: 02-236-1201

Mail: info@jat.or.th

第47回

チャリティー バザー!

■開催日時

10月21日(日) 10時開場

■会場

ホリデイ イン バンコク スクンビット
(Holiday Inn Bangkok Sukhumvit)
スクンビット22 最寄り駅BTSプロンポン

■チケットと販売所

前売券：30B 当日券：40B

販売所：日本人会本館・別館

※ベビーカーでのご入場はご遠慮願います。

※小学生以上はチケットが必要です。

●日本人会会員の方は会員証をご提示いた

だくとチケットなしでご入場いただけます。

同伴のお子様もチケット不要です。お越しの際は

会員証を必ずご持参くださいますようお願いいたします。

チャリティーバザーは

日本人会の社会貢献活動の
柱のひとつです。

皆様の手作り作品や

ご寄付いただいた品物を

販売し、純益金をタイ国内

の孤児施設、障害者団体、

福祉施設に寄付します。

出品してくださる方、

お手伝いの皆様、会場に

足を運び購入してくださる方々

すべてのチャリティー精神に

支えられ、47回目を

迎えました。

今年もご協力

よろしく

お願いいたします。

バザーの純益金は
チャリティー基金
運営委員会で検討
され、タイの福祉
施設などに寄付さ
れます。

ご協賛、ご協力いただける方
は日本人会事務局にご連絡
ください。サワディー品は本
館、別館にて10月10日(水)
まで受け付けております。

商品のご寄付

企業、個人を問わずバザーで販売する商品
を10月10日(水)まで募集中です。純益金
を寄付いたします。

サワディー品のご寄付

ご家庭で眠っている未使用品をサワディー品
と名付けて、販売しています。バザーの人気
コーナーです。手作り品で、未使用のものも
大募集中です。

ボランティアとして協力

準備期間や当日お手伝いして
くださる方を募集しています。

クrontoy幼稚園ボランティア



出生届が出されていないクrontoy地区の子どものために1973年、タイキリスト教団社会開発奉仕部によって設立された幼稚園を支援するグループです。FB:”スーンパッタナレボリカーンクrontoy”

2018年9月号掲載

◆出品商品ちょっと紹介



手作りアクセサリーなど

ルンアルン(暁)プロジェクト



チェンライの山麓で、中学高校で学びたい山岳民族の子どもたちのために生徒寮を運営し、30年にわたり教育支援を続けてきたNGO。生活環境の厳しい山の人々の暮らしを支える作物として、また自然や生態系の保全の観点からも、コーヒーの有機栽培に着目。子どもたち、スタッフ、山の村の人々とともに種から栽培し、手摘みし、天日で乾燥。その豆を、注文に応じて自家焙煎しています。現在は学校外教育で

2017年9・10月号掲載

中学高校の卒業を目指す、国籍のない青少年等を研修生として受け入れています。http://www.rungarun-akatsuki.ednet.jp/

「虹の学校」の応援団〈NADETHAI〉

ヤマトナデシコ in Thailand(NADETHAI)は、2011年3月の日本での震災に続き10月にタイが大洪水に見舞われた折に発足した、日本人女性を中心としたボランティアグループです。現在はおもにタイとミャンマーの国境付近のサンクラブリにある児童養護施設兼学校「虹の学校」を支援しています。https://facebook.com/Nadethai



2018年8月号掲載

※こちらのブースの収益は、すべて各団体の支援金になります。

「クルンテープ」で
 紹介した
 団体が
 ブースを
 出します！
 買って
 応援
 コーナー
 新設！

◆出品商品ちょっと紹介



有機栽培コーヒー 100g袋/200g袋 豊かな香りと澄んだ味わいのコーヒーです

他に、有機栽培の梅で作った手作り梅干なども

◆出品商品ちょっと紹介



- 古着や余り布で作る布草履 大人用:200B 子ども用:150B
 - 大人気 おりもの用布ナプキン オリジナルバンブーコットンを使用した布ナプキンは、通気性がよく、さらっとソフトで気持ちのいい使い心地です。さらに身体の中心にあたる部分を温かく保つことができる点でも女子にオススメ! 布ナプキン(小):180B
 - チェンライ産の美味しいコーヒー豆
- ※収益はすべて虹の学校に寄付します。

「いつもの場所で普段着の姿を」 ミニコンサート開催

7月8日(日)、日本人会別館のファンクションルームで、ミニコンサートを開催しました。

入場されたお客様は、開場後
も練習を続けている私たちにま
ずは驚かれたことと思います。
これも表題に示した斬新なコン
セプトを採用したため。いつも
の練習場所である別館ファンク
ションルームを会場として、普
段着の私たちをご覧いただきま

した。

「本番」の幕開けはタイ国歌
と国王賛歌。どちらもタイ在住
者にはなじみのある曲ですが、
今回は指揮者・岩渕先生による
編曲でお届けしました。タイ国
歌については合唱で聴いたのは
初めてという方も多かったので

バンコク混声合唱団 ミニコンサート

指揮 岩渕大輔
伴奏 平塚亜佐美

タイ国歌からクラシック
日本のこころ『さくら』まで
バンコク混声合唱団の
日ごろの活動をご覧ください

武満徹「うた」より『小さな空』
特別企画 ふたつの『キリエ』
★モーツァルト『レクイエム』
★チルコット『ジャズ風ミサ』



7月8日(日) 開場 2時半 開演 3時
日本人会別館 ファンクションルーム1・2

お問合せ ● 松尾 092-262-8901
福岡 086-988-4500
email : bangkokkonsei2018@gmail.com
facebook ページ 「バンコク混声」で検索



団員募集中



はないでしょうか。

続いて日本の作曲家・武満徹
のアカペラ曲を3曲。混声8部
合唱で、和音やリズムも複雑。
団員が直前まで最も苦しんだ曲
で、自分の音を見失いそうにな
不安と緊張で、冷や汗をかきなが
ら歌っていた人がいたとか、い
ないとか……。

メインは「二つのキリエ」と
題し、全く異なるタイプのミサ
曲から「キリエ」という同じタ
イトルの曲を取り出して比較演
奏。かたや古典派の代表・モー
ツァルト作曲の『レクイエム』
からの「キリエ」、一方は現代
・イギリスの作曲家チルコッ
トの『ジャズ風ミサ』の「キリ
エ」。特にチルコットの方は、
「これもミサ曲!？」と驚かれた
り、「私もこの曲、一緒に歌い
たい!」と思われた方が何人も
いらつしやった…に違いありま
せん!

最後にモーツァルトの『レク
イエム』より「怒りの日」を演
奏。アンコールは学生時代を思
い出す「大地讃頌」、タイ国
歌」をもう一度ご来場者の皆様
と歌い、幕を閉じました。
今回披露した曲は全て来年2



月3日の定期演奏会で完成度を
高めて演奏します。今回来てく
ださった方も、そうでない方
も、どうぞお運びください。
また、新入団員も随時募集中
です。ご来場、ご入団、どちら
も大歓迎致します。
お問い合わせは bangkokkon
sei2018@gmail.com まで
お気軽にどうぞ!



パフォーマー全員集合！ 前列中央左:筆者、中央右:指揮者 永井真由美先生



演奏後緊張が解けて笑顔！



打ち上げ、おつかれさまー！



KCJAによるJazz演奏

【文化部】歌謡コーラス

ピアノ伴奏 石上玲奈

「ハーモニイーがやみつきに」 第19回定期チャリティイー コンサートを終えて

7月14日(土)、Bangkok Art and Culture Centre
にて、たくさんの皆さまのご協力によって、
無事コンサートを開催することができました。

昨年ピアノ伴奏者募集の広告を見て入会。伴奏なら：ソロで弾くより簡単という感覚、間もなくそう単純でもないと感じづく。練習は折々に録音、各会員に配信され、各地で足並みをそろえて練習。小心者の私は配信先のまだ見ぬ日本の先輩方に伴奏のダメ出しをされないか内心冷や冷やした。

本番間近になれば、お客さんで埋まった会場をイメージして、がっかりさせられない！と焦りも。指揮の永井先生はそんな不安を知ってか知らずか「やってるうちにうまくなるから」と。自分の音を聴く、というのが、簡単なようで難しい。聞こえているけれど、聴けていない。十分にやった、と思っても、録音を聴くと思っていたのとは全く違う演奏でがっかりしたりする。ここは歌が遅くて：と思いつながら弾いている箇所が、録音ではピアノがせわしなく聞こえたりする。ずれていたのは私のほうであったか！と驚く。

自分の思い描いた演奏：歌声とのバランスのとれた演奏、指揮者のイメージに近づけるように、弾いてみて、調整して、弾いてみて：繰り返すうちに、弾

きながら聞いている音と、録音で聞いた音のギャップが縮んでいく。これは伴奏に限らず、きくと歌う皆さんも調整して、ここに合わせよう、という共通のイメージが出来上がり、そしてハーモニイーが完成していった。

そうして迎えた本番。バンコク組20名に日本などから駆け付けた13名の会員が合流し、私も安心して心地よいハーモニイーの中にいた。これだ！という美しい音の形を、次々と全員で紡いでいく合唱。音はなんの形も残さず、本番はあつという間に終わってしまった。打ち上げ花火のことを思い出した。夜空に華やかにひらいて、まだ見ていたのに、次の瞬間にはなくなってしまう感じ。また見たい！

歌謡コーラスおなじみのキャッチフレーズ「ハーモニイーがやみつきに」あれはステージで度々訪れる喜びの瞬間を知る、会員それぞれの熱い体感がこもったフレーズだったと知る。

【ご報告・御礼】今回のコンサートには約150名のお客様にご来場いただき、ありがとうございました。募金額2万2329バーツは(財)アジア車いす交流センタータイランド(WAFCAT)に寄付しタイの障がいを持つ子どもたちの支援活動に役立てられます。



懇和会主催 講演会・懇親会
 『瀬戸正夫のバンコク物語』
 講師：瀬戸 正夫氏(朝日新聞フリーカメラマン)
 2018年7月24日(火)



瀬戸正夫氏。1931年ブーケット生まれ。長年、朝日新聞のフリーカメラマンとして東南アジアの激動の歴史を撮る

【事業部】懇和会 小野晴代 川満富子

『瀬戸正夫のバンコク物語』 講演会が開催されました！

ラーマ7世から10世にわたる4代の時代を生きてこられた87歳の現役カメラマン瀬戸正夫氏にお話をうかがいました。

去る7月24日(火)、日本人会本館にて、瀬戸正夫氏に「バンコク物語」のテーマで講演をしていただいた。

瀬戸氏は1931年ブーケット生まれ。長年、朝日新聞のフリーカメラマンとして東南アジアの激動の情勢を始め、日本人

会や日本人学校の行事には必ずカメラを持って記録写真を撮り続けてこられた。また、子どもたちに水泳を教えられ「瀬戸先生」と親しまれている。今年87歳になられるが、今も愛用のカメラを手にどこにでも出かけてシャッターを切っておられるお

姿に感動する。

さてテーマのバンコクが首都になったチャクリー王朝（1782年～現在）のお話からだが、瀬戸先生はラーマ7世から10世と4代の時代を生きてこられた日本人唯一の生き字引でもある。参考にと時間をかけて作成された年表を元にお話されたのでとてもわかりやすく興味深いお話だった。誌面の都合がありますので、要点のみにての掲載になることご了承ください。

バンコクの誕生

チェンマイ県のピン川、ラムパーン県のワン川、チェンライ県のヨーム川、ナーン県のナン川、4本の川が合流してチャオプラヤー川となり北から流れてきた土砂が積もってできたデルタ地帯に1767年トンプリ王朝ができ、1782年、チャオプラヤー川の東岸にチャクリー王朝が建国された。バンコークは、バーンの意味は、家、村でコークは黄色い花の咲くボンビンの木の意、即ち「ボンビンの木の村」である。

第2次世界大戦の勃発

1941年から1945年終戦の日まで34回の空襲を受け、全国では250回。多くの死傷者が出ている。現ホアランポーン中央駅、バンコクノイ駅、ヤワラートの中華街など、ワットリアップの隣の発電所、リアップ寺の本堂も直下弾を受けて瓦礫となった。1945年4月14日から終戦の日まで電気も水道もない暗黒の時代となった。

ビルマ作戦の敗退

補給なしでビルマに出生した日本軍の兵力はインパール作戦を含めて約30万3000人で内18万5000人が悲惨にも戦死している。食料も弾も尽き、約60パーセントが戦わず餓死、ビルマからタイに向かうジャングルには無残な白骨街道がある。日本人学校は閉鎖、タイに居た邦人はバンコクに集められ、バンブアトーンキャンプに收容された。1945年8月15日、日本の無条件降伏で日本人は連合軍の敵と見なされ、邦人の資産は没収され素っ裸にされた。11

万7750名の軍人と約3650名の在留邦人が居た。（本日も出席の日高龍雄氏、新野昭子さん、当時5歳の浅丘るり子さんもいて演芸会などして比較的安全な集会所となっていた）キャンプから祖国へ引き上げが決まった時お世話になった近くのお寺や地元の人にお礼として簡単な木造の橋を架けた。今はセメントになっているが、日本の友好橋として利用されている。

1946年6月10日

バンブアトーンから残留希望者を残して約3000人が引き揚げ、約1ヶ月かけて無事鹿児島に到着、戦犯容疑を免れ、その家族、軍人などが2弾、3弾と引き揚げた、残留希望者は800人いたが、無事に残留できた同胞はわずか107名だった。タイ当局は帰還者が乗船する時に、軍人始め在留邦人約12万人に無言で真心こもった白米を1人5キロずつ餞別として持たせてくれた（大変喜ばれたとの手紙が残っている）。

日本人納骨堂

明治時代の先輩（20世帯）の積立金を元に昭和10年に金閣寺を模した納骨堂を建立。戦時中ワットリアップの本堂が空襲で破壊された時、屋根瓦が破損しただけで助かった。敗戦後日本人の財産は全部没収されたが、納骨堂だけはタイの慈悲深い仏心によって奇跡的に残った。やるせない同胞たちは時々納骨堂に集まるようになり、「タイ国仏教奉賛会」とし、後に「懇和会」と改称、今年で48年となる。高野山本山より堂守を派遣して貰い、春季、秋季の彼岸の法要、在留邦人の法事などを執り行っている。

タイに居ても先祖を偲び、お墓参りをするような気持ちで納骨堂にお参り、心安らかな日々を過ごせることに新たに感謝したい。時代を通して先輩たちのご苦勞に共感したり驚いたり有意義なひとときであった。最後に、神原懇和会会長から、日本とバンコクで開催される写真展のお知らせとともに、来年迎えられる米寿のお祝いが贈呈された。瀬戸正夫先生のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

小学4年生の校外学習

水の大切さを知ったバンケン浄水場見学

バンコク日本人学校
小学部4学年主任 上田 恭士

教科書で「水はどこから」の学習を一通り行った後、7月4日水曜日、いよいよバンケン浄水場見学の日がやってきました。時を同じくして、チェンライの洞窟に閉じ込められていた12人の子どもたちとコーチの生存が確認されたことが世界的なニュースとして報じられました。

この浄水場は日本のODA（JICAの有償資金協力、無償資金協力、技術協力プロジェクト）で建設と技術者育成が行われました。見学には独立行政法人国際協力機構（JICA）タイ事務所の澤内さんが同行してくれ、開会式の中で、「この見学とチェンライ洞窟で遭難した子どもたちが生きていたニュースは全く関係のない話のようですが、実は水でつながっている話です。」とお話しされ

ました。（見学当日、お手伝いをしてくださる予定だったJICAの大塚さんは、バンコクで洞窟事故救出活動の後方支援に従事しており、本見学には参加できませんでした。）また、副所長のウイチャイさんは、飲み水があれば1週間程度は生きられると、水が何よりも大切なことを話してくれました。わたしたちがこうして生活できているのも、洞窟内の少年たちが生き延びることができたのも、全て水のおかげだということを改めて考えさせられた浄水場見学会式でした。

見学では、屋外施設と屋内施設の2グループ（各6クラス）に分かれ、交替で見学を行いました。

今年度も子どもたちは、浄水場職員の方々や担任の先生の説明を真剣に聞いてはメモを取り

ながら歩きました。取水口から取水ポンプ、沈殿池に濾過池と、巨大な施設が次から次へと目の前に現れ、写真では分からなかった実際の大きさや迫力に、驚きと感動を覚える子どもたちでした。

また、屋内施設の見学では、水質検査室など浄水場の心臓部分を見学することができました。中央コントロール室ではJICAの澤内さんが丁寧な説明をしてくださり、子どもたちの理解が深まりました。バンケン浄水場で安心、安全な水を作ることができるのは、ここで働く皆さんのおかげだということ、を強く実感したことだと思います。

はじめの会、お礼の会では、日本語とタイ語が交互に飛び交う、タイならではの雰囲気味わうことができました。司会、

挨拶代表の子どもたちは、学校での練習の成果を発揮し、日本語やタイ語でスムーズに進行したり、自信あふれる挨拶をしたりして役割を果たすことができました。

見学の合間に行った代表質問では、各クラス代表の子どもたちが、あらかじめクラスで考えた質問を暗記し、堂々と質問することができました。浄水場の方の丁寧な受け答えもあり、知識の幅が広がったことだと思います。

挨拶代表の子どもの言葉にもありました。教科書では分からないことを、実際に見学することで、様々な浄水場の工夫を知ることができた校外学習となりました。そして、24時間体制で施設や機械などを管理し、バンコク都を中心とした広い範囲で生活する人々に、安心して安



全な水を送り続けてくれる浄水場職員の方への感謝の気持ちや、限りある水を大切に使うことができるとする気持ちをもつことができました。是非、今後も水を大切に生活していきたいと思っています。

お世話役のスタタリーさんをはじめとした浄水場職員の方々、JICAの皆様、モントリー社（バス）の皆様方に対し、大変有意義な時間を過ごすことができたことに、改めて感謝の気持ちで一杯です。

バンケン浄水場見学を終えて

バンコク日本人学校小学部4年
..... 近藤百華

わたしはバンケン浄水場見学を終えて、分かったことがたくさんあります。最初に取水口の水を見たときは、本当にこの土の色をした水が、きれいになるのかと疑問に思いました。だけど、見学していくうちに、たくさんの方々の努力で、みんなが飲む安全な水が作られていることが分かってきました。「中央コン



トロール室が浄水場になかったら大変こまる。」ということ、「水質検査室ではたくさんの方がある。」ということなどを知って、水が飲めるためようにするために、たくさんの方々の工夫や職員の努力があることを知りました。

「土色のチャオプラヤー川の水が、浄水場の機械や職員の皆さんの力でわたしたちが使えるきれいな水ができる。」このことを忘れないようにして、これからは水を大切にしたいと思います。



連載 62

ポルトガルの海(1)

レヌカー・M

● 1492と1498

前号ではラーマティボディー王が父王と兄王のためにストウパ(仏塔)建立したと記した。時は小暦854年、西暦では1492年で、コロンブスの新大陸発見の年である。

西洋世界では、ここから、大航海時代の幕が切つて落とされる。著者はこう記した。

「15世紀の時はゆっくりと流れる。アジアにポルトガルの食指が伸びるのは、1498年。ヴァスコ・ダ・ガマのカリカット上陸である。私たちにはまだ多少の余裕がある。」

余裕があつたのは、なぜか? 時代には流れがあり、国々は、政治環境、諸事情からそれぞれの都合を抱えている。

コロンブスを支援したスペインとヴァスコ・ダ・ガマを派遣したポルトガルに抛り、1492年と1498年の間の事情と都合を探ってみよう。

● ポルトガルの事情

生田滋先生の名著『大航海時代とモルッカ諸島』(1998年

中公新書)に沿って、話を進めさせていただく。

14世紀末のイベリア半島では、7世紀に始まるイスラムの西ゴート国侵略により追われた住民たちが復興の波が押し寄せていた。レコンキスタ(国土回復)のダイナミズムの中で、ポルトガル、カステイリヤ、ナヴァラ、アラゴンなどの諸王国が分立し、南のアンダルシアには、まだ、イスラムのグラナダ王国があつた。

ポルトガル王国内では、カステイリヤとの合同を望む貴族たちと独立を求める民衆が対立していた。1383年、民衆の支持を得たジョアン王子はクーデター後、「王国の守護者」に推戴された。1385年、侵入してきたカステイリヤ軍を破った王子は、ジョアン1世として即位する。

小国ポルトガルは、カステイリヤと比較して、面積では4分の1、人口は4分の1に過ぎなかつた。

小国は西の大西洋と南のアフリカに活路を求めた。ヨーロッパ最西端に位置していたポルトガルは、「西に押し出される以外になかつた」と書いている本もある。アフリカ沿岸の島々への殖民はジョアン1世時代にすでに始まっ

ていたが、ポルトガルの海外進出は2代目のドウアルテ王(1433-1438)時代に進む。

その頃、アユタヤでは、ポロムラーチャー1世となつたサーム・ブラヤー王子が、1434年にアンコール制覇を行った。その出陣の日に生まれた王子が後のトライローカナート王であることを思い出していた。ドゥアルテ王は弟のエンリケ王子に、アフリカ大陸沿岸で自分でまかなう貿易、殖民、海賊活動の利益に課せられる5分の1税を免除する特権を与えた。

ポルトガル船は、これまで航海技術上限界とされていたボジャール峠を超えて、金と奴隷を求めて西アフリカ沿岸を進んだ。航海王子エンリケ王子は1460年に死去するが、その後は、アフォンソ5世(1438-1481)の王子ジョアンが引き継いだ。アユタヤはトライローカナート王の治世である。

● スペインの都合

一方、大国カステイリヤの皇女イサベルはアラゴンの王子フェルディナンドと結婚した。やがてイサベルはカステイリヤ女王となり

(1474)、フェルディナンドは1479年にアラゴン王として即位し、2人で共同して両国を統治することになった。スペイン王国の始まりである。

1479年に結ばれたアルカソヴァス条約により、ポルトガルはカステイリヤの王位請求権を放棄した。スペインはポルトガルのマデイラ、アソレス、ヴェルデ岬諸島の支配権とアフリカ大陸沿岸における航海と貿易の独占権を認めた。

● ポルトガルのアフリカ進出

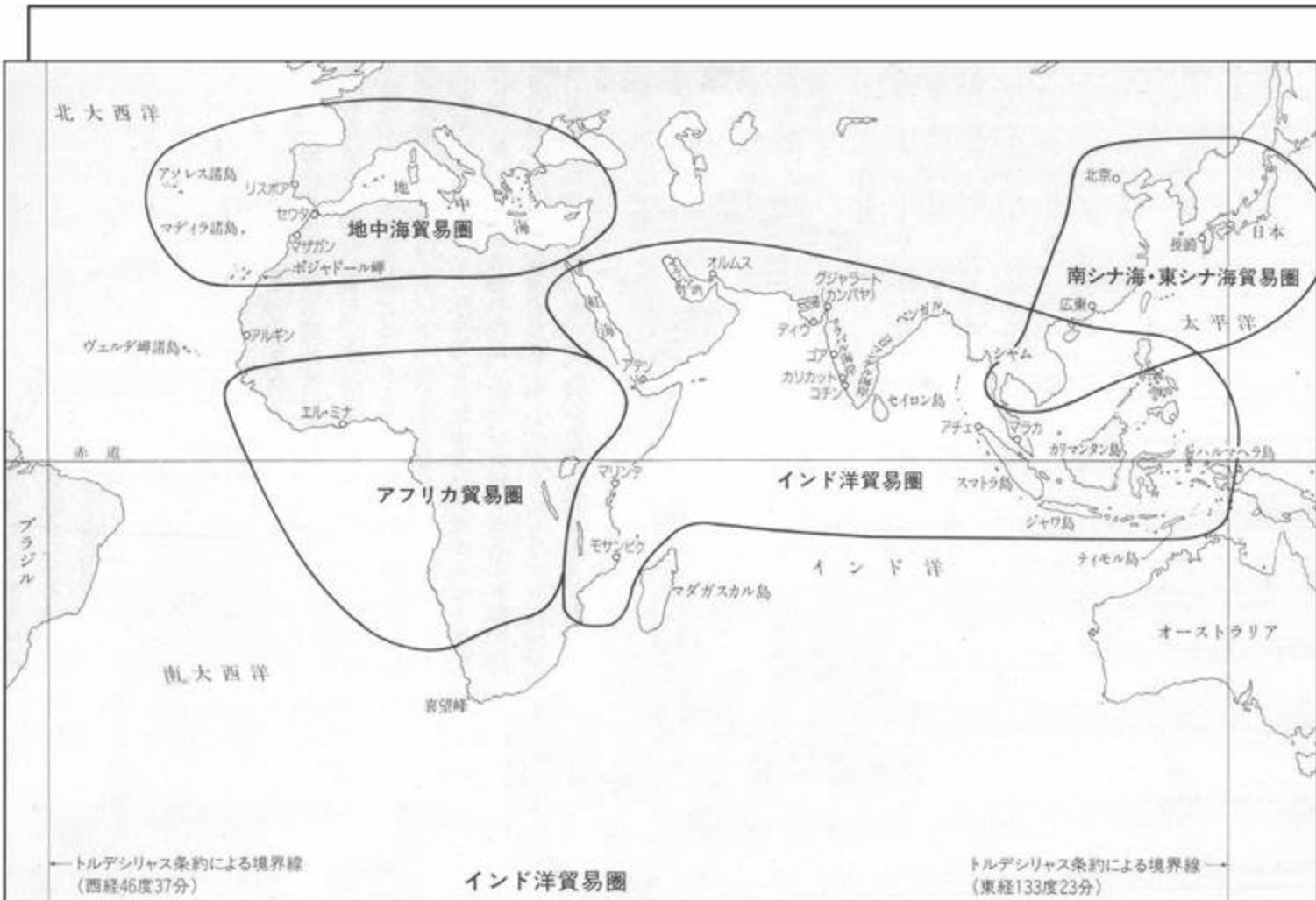
アフォンソ王の死後、ポルトガルではジョアン王子がジョアン2世(1481-1495)として即位する。王子は即位前にエル・ミナ城を建設して金と奴隷貿易の拠点とし、アフリカ西海岸におけるポルトガルの航海・貿易活動を強化した。

ジョアン2世はポルトガル人が進出した地には、パドランという、王家の紋章を刻んだ石柱を立てさせた。それはスペインその他の国々に対し、ポルトガルの優先権を主張するためであった。下世話の言葉で言えば、「唾つけた!」のである。

● コロンブスの登場

西への航海の執念にとりつかれた男コロンブスが現れる。「西へ進めば、金の埋まっている

ジパング（日本）へ、魅力ある商品の溢れるカタイ（中国）に到着する！」彼ははじめポルトガルのジョアン2世に話を持っていくが、ポル



典拠：p14、15 生田 滋著『大航海時代とモルッカ諸島』
中公新書 1998 中央公論社

トガル王は「西へ進んで東に着く」話より、まず南のアフリカ西海岸からアジアへ…と、コロンブスの話は聞かなかった。次にコロンブスが向かったスペイン王家の事情は、違った。イサベラ女王もフェルディナンド王も、レコンキスタの最後のしあげとして、グラナダ王国掃討にエネルギーを傾注していた。戦争には資金が必要である。豊かなジパングとカタイを得たい！

1492年4月、両王がコロンブスと「サンタ・フェの条約」を結び、航海準備を進めた背後には、切羽詰った財政事情があった。

1492年8月3日にパロスを出帆したコロンブスの船は、西へ向かい、やがて、未知の土地に到達した。コロンブスは自分がジパングかカタイの近くに着いたと信じ込んだ。

帰航の途中、コロンブスの船は1493年3月にポルトガルのリスボアに立ち寄った。

コロンブスが「ジパングかカタイの近く」に到達したという情報は、ジョアン2世には大衝撃を与えた。方角と航路こそ違え、王もアフリカ経由で東を目指し、まだ成功していなかったのである。

● トルデシリャス線

生田先生の文章を引用させていただく。

「イサベル、フェルナンド両王はこの機会を抜け目なく利用した。両王はアラゴン出身のローマ教皇アレクサンデル6世（1492年1503）を動かして3通の教皇勅書を発布させ、そのなかで、アソレスおよびヴェルデ岬諸島の西

および南100レグア（1レグアは約5・93キロ。したがって約593キロ）を境界線とし、ポルトガルの活動範囲をその内側に限定し、その外側をスペインの活動範囲とさせた。しかしこれはポルトガルにとってあまりにも不利であったので、ジョアン2世はイサベル、フェルナンド両王と直接交渉して、1494年にトルデシリャス条約を結び、ヴェルデ岬諸島の西370レグア（約2194キロ）の子午線を境界線とし、その東側はポルトガルの勢力範囲、西側はスペインの勢力範囲とする」とした。この境界線は西経46度37分の子午線に相当し、これを延長すると東経133度23分の子午線となり、日本を福山のあたりで縦断している。つまり日本は知らないうちに、この時にポルトガルの勢力範囲とスペインの勢力範囲に分割されてしまったのである。」（p8 前掲書）

この条約により、南アメリカで、ブラジルだけがポルトガル領とされ、今日の「南米で唯一ポルトガル語を話す国」ができた。

「アダムとイヴの遺産」たる地球を教皇の仲介により二分し、翌年の条約でそれを固定化した2国は、後にアルプス以北の諸国の反発を誘発することになる。

日本人を含むアジア人にとっては今はバッド・ジョークの笑い話であるが、15世紀末の西欧世界では大手を振ってまかり通った理屈であったのだ。

ジョアン2世はトルデシリャス条約でポルトガルの活動範囲を確保すると、インドに向けて船隊派遣の準備を進めた。

タイ国日本人会 ゴルフ部 第700回月例会成績

日時 2018年8月19日(日) 場所 ラムルッカC.C.

参加人数名 35名(Aクラス17名 Bクラス15名 査定1名 体験2名)

(平均スコア 44.8 44.4 89.2)

Aクラス

順位	名前	OUT	IN	GROSS	Hcp	NET	新HD
優勝	竹間 一吉	40	42	82	12	70	祝12
2	田中 康明	38	43	81	10	71	リーチ
3	榎 聰志	49	40	89	12	77	
4	坂田 剛	45	39	84	7	77	
5	石橋 孝則	41	43	84	7	77	

Bクラス

(平均スコア 47.9 47.5 96.5)

順位	名前	OUT	IN	GROSS	Hcp	NET	新HD
優勝	堀口 兵晴	44	47	91	20	71	祝19
2	福浦 一幸	42	45	87	15	72	
3	岩間 崇真	43	46	89	15	74	
4	佐橋 勝照	47	43	90	15	75	
5	小幡 正純	46	46	92	15	77	

査定ラウンド8月度は1名でした。

名前	OUT	IN	GRS	提出平均 GRS	提出推定 HC	新HC	新クラス
窪田 洋之	44	49	93	94.2	17~18	18	B

2018年1月より月例会の会場はラムルッカCCに変更になりました。

- 「ゴルフのルールを覚えたい」「競技ゴルフを楽しみたい」 ゴルフ部月例会で体験ラウンドに参加してみませんか！
ご興味のある方はメールまたはお電話でお申し込みください。golfoyaku@hotmail.com 089-056-8250迄
- 2015年7月例会よりハンデによるクラス分けが変更になりました。ハンデ12まで→Aクラス ハンデ13以上→Bクラス
- 月例会 ゴルフ部は、毎月第3日曜日にラムルッカCCにて競技会を行っています。
A・B各クラスの優勝者には SrixonSports(Thailand)Co.Ltd.様よりボール1ダースを、
また、日本食レストラン 和食“庵寺”様より1,000 パーツ分のお食事券をご提供いただいております。
ゴルフ部への入部は随時受け付けております。入部ご希望の方はゴルフ部のホームページをご覧ください。
- 月例会終了後、成績発表及び入賞者の表彰式を行っています。ぜひご参加ください。

ゴルフ部のホームページ(<http://www.jat-golf.org/>)で、月例会の成績、入部手続等々をご覧になれます。

発行 2018年10月1日
 編集人 富永 康行
 発行人 タイ国日本人会
 印刷・製本 YAMAGATA(Thailand)Co., Ltd.
 発行所 Japanese Association in Thailand
 1stFL. Sathorn Thani Bldg. II
 92/2 North Sathorn Rd., Bangkok
 10500 Thailand
 Tel. 0-2236-1201
 Fax. 0-2236-1131
 E-mail : info@jat.or.th
 www.jat.or.th
 編集協力 Plant Planet Co., Ltd.
 レイアウト OT Promotion Co., Ltd.

〈非売品〉
 落丁・乱丁の場合、事務局にてお取替えします。
 禁 無断転載

【編集後記】
 海外転勤族の子供は、新学期を迎えるたびに友達が海外へ転校してしまい、さぞ寂しい思いをしているかと思いきや、日頃からSNSやビデオ通話を使って、別の国に暮らす友達と普通にお喋りしている。
 しかも、変顔アプリや面白スタンプを使って、とても楽しそうにコミュニケーションしている。仕事でも、本社とWEB会議を行うのが当たり前になっているが、映像や音声が高品質になり、眉間のシワや、ため息まで鮮明に伝わってくる……
 子供達のように、変顔アプリでも使って、楽しい会議にしたいものだ。
 S N O W

カリッと焼いた生地に鶏卵素麺やココナッツをのせたタイのクレープ

カノム・ブアンタイ

屋台というより最近ではショッピングモールの食品ブースで見ることが多いお菓子です。目印は鉄板。小さな円盤に柄のついた専用ヘラで鉄板に生地をのぼしているところをご覧になったことのある方も多いのではないのでしょうか。うるち米粉と大豆の粉あるいは緑豆粉を合わせてココナッツミルクと水で溶き、パリパリッ

と薄く焼き、その上に具をのせて軽く二つ折りにしたお菓子です。

伝統的なカノム・ブアンタイの場合、具はたいてい2種で、ワーン(甘い)とケム(塩味)。甘いタイプは、焼き上がる前に生地にメレンゲをぬり、その上に細かく削ったココナッツ、さらに卵黄をシロップで糸状に煮た鶏卵素麺をの

せて、薄く切った干柿をひとつか二つトッピング。伝統

スタイルと銘打ちながら、昔はタイで栽培されていなかったはずの柿が使わ

れているなんて…と思っ

ていたのですが、さにあらず。確かに北タ

イでの柿の栽培は近年のことですが、干

柿は昔もあったので

す。中国からの輸入品として、唐船に揺られて

アユタヤ王国の港に届いていたそうです。たいそう貴重

で高価なものであったことでしょう。

もう一つの塩味タイプ(ケム)のほうは、具は甘辛く煮たココナッツとエビ。エビは知

らなければ気づかないほど少量ですが、昔日は違ったらしい。タイの文化省が数年前に発

行した非売品の本『モラドック・プミパンヤー・ワッタナタム・コン・チャート(国家

の生活文化遺産)』によると、かつては川エビで作られており、そのため川エビが豊富な

冬の味覚だったそうなのです。また同書によると、カノム・ブアンタイは中部タイに古くから

伝わるお菓子で、昔は素焼きの平たい鍋で焼いていて、ヘラは竹製。高僧に献上するよう

な格式高いお菓子のひとつだったそうです。さて、カノム・ブアンタイ(タイのカノ

ム・ブアン)というからには他の国のカノム・ブアンもあるはずと調べてみたら、ありました。カノム・ブアン・ユアン(ベトナム)。

米粉を薄く焼いて具を包んだ、ベトナム料理のバンセオのタイ版です。



鶏卵素麺入りがかノム・ブアンタイ・ワーン(甘い)、甘辛ココナッツ入りがかノム・ブアンタイ・ケム(塩味)

連載48

タイの

お菓子は

二度

おいしい

カノム・ブアンタイ ขนมเบื้องไทย

■次号のお知らせ

「すくすくだより10月&11月号(204)」は『旅行記2018』、「すくすくだより12月&1月号(205)」は『お弁当食べ比べ(仮)』を予定。

■編集部遊びに来ませんか?

Look

10月5日(金)9:30~日本人会別館にて、座談会「みんなの気になるお金の話(仮)」を、11月2日(金)、21日(水)には編集部会議を行う予定です。「すくすくだより」がどのようにできあがっているのか、ご興味のある方は是非見学に来てください。

ご連絡はsukusukudayori@yahoo.co.jpまで。

投稿/高山容子



8月1日(水)に座談会「編集部に入って良かったこと」が行われました。皆、たくさん良いことがあるようで、おおいに盛り上がりました。スタッフ大募集! 私たちがお待ちしています

キッズルーム



●幼稚園情報交換会

バンコクの幼稚園に通うお子さんの先輩ママさんに、幼稚園選びのポイントや実際に通わせてみての感想などをお話いただく会を開催し、17組の親子にご参加いただきました。……7月20日(金)開催

投稿
/藤井智子



●あつまれすくすくっ子! 親子ふれあいあそび会

保育士さんお2人による親子ふれあい遊び会&お弁当ランチを行いました。ちびっこたち、大はしゃぎでした! ……7月19日(木)開催

投稿/三浦明



●新米パパママとベビーの会

1歳未満のお子さまがいるご家族にお越しいただき、助産師、小児科看護師、リトミック講師による産後両親学級を行いました。……7月21日(土)開催

投稿/アカリ



●ゆるっトーク



小児看護師のスタッフによる子育て相談会を開催しました。個別相談なので、じっくりゆっくりとお話できました! 今後も不定期に開催予定です。

……7月31日(火)開催

投稿/田際玲子



Check

すくすく会のホームページ

詳細・お申し込みはこちらから

<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

出産準備教室

出産準備教室は、タイで生活されている妊婦さんとご家族を対象に出産準備母親教室と両親学級を開催しています。

Look

● 出産準備母親教室

妊娠中の生活と出産の流れ、バースプランについて、出産準備品の説明、タイで出産された方の体験談、フリートーク。産前・産後ママの気になる情報を是非この講座で聞いてみてください。経産婦さんでもお子さん連れでもご参加いただけます。お友達作りにも！

開催日時：11月7日(水) 9:30～11:30 (9:15受付開始)



7月18日(水)の出産準備母親教室

Look

● 両親学級

沐浴、おむつ交換の実習、父親の妊婦体験ジャケット着用、父親体験談。プレパパとプレママで、実習をしながら出産について一緒に考えてみましょう！ご夫婦10組限定とさせていただきます。必ずご夫婦で参加ください。

開催日時：12月15日(土) 9:30～11:30 (9:15受付開始)

※各回、日本人会別館開催、参加費無料(すくすく会の会員証持参のこと)、別途テキスト代100B。申し込み方法の詳細は、日程変更の可能性がございますので、すくすく会のホームページまで！

<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

※出産準備教室では、タイでの出産、体験談をお話しくださるパパさん・ママさん、そしてボランティアスタッフを随時募集しております。ご協力いただける方 syussan.meeting@gmail.com までご連絡ください。

投稿/村瀬



おっぱいミーティング

妊婦さんには授乳についての講義を、産後のママさんには育児についての様々な悩みや疑問を、スタッフの体験談を交え座談会形式で行っています。基本的に、毎月第3火曜日に、サミティベート病院で開催。

Look

● 今後の予定

10月16日(火) 11月20日(火) 12月18日(火)

9:30～11:30(予定) お申し込みはホームページより



「僕たち、お友達になったよ！」

わんぱくミーティング

Look

● 今後の予定

10月9日(火) コアラ&ペンギン&ウサギ合同
テーマ「ハロウィン」

11月13日(火) コアラ&ペンギン&ウサギ合同
テーマ「歯の話」

11月15日(木) 離乳食



「わんぱくミーティング夏祭り」8月3日(金)、日本人会別館にて未就園児を対象にしたすくすく会の夏祭りが開催されました。本誌、活動報告で紹介しています (p13)

すくすくだより編集部

■ 「すくすくだより」はちゃんと届いていますか？

「すくすくだより」はすくすく会会員のための会報誌です。偶数月の月初めに日本人会から会員宛に郵送されます。もしも、ご指定の住所に届いていないようでしたら、日本人会別館(02-662-4948～9)までご連絡ください。

NO MORE WAITING
PERFECTION
IS UNLEASHED



HYBRID

TNGA
Toyota New Global Architecture

TELEMATICS

Toyota
Safety
Sense

LIMITLESS AUTOMOTIVE ENGINEERING

GO BEYOND ALL RESTRICTIONS WITH EVER BETTER IDEOLOGY THROUGH DISTINCTIVE DESIGN AND PRECISE PERFORMANCE ALONG WITH INNOVATIVE TECHNOLOGY THAT REDEFINES TRUE PERFECTION.

ALL NEW
C-HR
IRRESISTIBLE

PERFECT EXPERIENCE

THE ALL NEW C-HR HEIGHTENS EVERY ASPECT OF YOUR LIFESTYLE, MAKING IT THE ONE AND ONLY AUTOMOBILE THAT'S IRRESISTIBLE.

